



ELETTA
CAPPUCCINO
—EVO—

Full Automatic Coffee Machine

デロンギ エレッタ カプチーノ イーヴォ 全自動コーヒーマシン

型式番号

ECAM46860

家庭用

※本体の型式番号「ECAM46860」の後に続く
アルファベットは、色番号を表すものです。



取扱説明書（保証書付）

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

目次

使う前に	安全上のご注意	2
	コーヒーマシンのご紹介	4
	はじめにご確認ください	8
	各部のなまえとはたらき	9
	初めてお使いになる前に必ずすること	12
基本編	抽出前の準備をする	14
	コーヒーを抽出する	17
	ミルクメニューを抽出する	19
応用編	給湯する	21
	ドリンクをカスタマイズ（定量設定）する	22
	便利な機能、その他の機能	24
こんなときは	お手入れ	29
	石灰（白い付着物）を除去する	35
	表示一覧	37
	故障かな？	39
	仕様	41
	アフターサービス	42
	保証書	43

安全上のご注意〈必ずお守りください〉

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



定格 15A (100V) のコンセントを単独で使用する

(火災、感電の原因)

- ※ ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しないでください。
- ※ 海外など異なる電源電圧の地域で使用しないでください。(日本国内専用)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりは定期的に乾拭き掃除をする

(火災の原因)

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災、感電の原因)

異常、故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけどの原因)

〈異常、故障例〉

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
- 異常な音やにおいがする
- 本体に破損や変形がある
- 本体から水や蒸気が漏れる

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

しっかり固定された平らな場所に設置する

(やけど、けがの原因)

※ 設置の方法は 8 ページ参照



本体や電源プラグ・コードに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない

(火災、感電の原因)

誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

濡れた手で本体を触ったり、電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)

動作中に電源プラグを抜き差ししない

(火災、感電の原因)

電源プラグ・コードを破損させない

(火災、感電の原因)

- 傷付けたり、加工したり、加熱したりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
- コードを引っ張って本体を移動させない

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)

製品の表面にひびが入っている場合は使用しない

(火災、感電、けがの原因)

警告



子供など取り扱いに不慣れな方、介助を必要とする方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない

(火災、感電、やけど、けがの原因)

※ 本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。お子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。また、子供が機器(電源コード含む)で遊ばないよう監視してください。



穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(火災、感電、けがの原因)

※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

豆ホッパー(グラインダー)やパウダー投入口に液体を入れない

(火災、感電の原因)

注意



長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)

お手入れは必ず各部が冷えてから行う

(やけど、けがの原因)



他の用途で使用しない

(火災、感電、けがの原因)

火気の近くや直射日光が長時間あたる場所で使用しない

(火災、感電の原因)

- 熱源の近くで使用しない
- 屋外や湿気の多い場所で使用しない

抽出中や給湯中にトレイを取り外さない

(やけどの原因)



使用中および使用後しばらくは抽出口やミルクノズル、給湯ノズルに触れない

(やけどの原因)

- 抽出中やお湯を出している最中に抽出口や蒸気が出るところに顔などを近づけない

お手入れのとき以外は豆ホッパーの中に指などを入れない

(けがの原因)

電源の入切をするための部品(外部タイマーなど)やその他の製品、部品、遠隔操作システムなどを組み合わせて使用しない

(火災、感電の原因)

本製品を業務用で使用しない

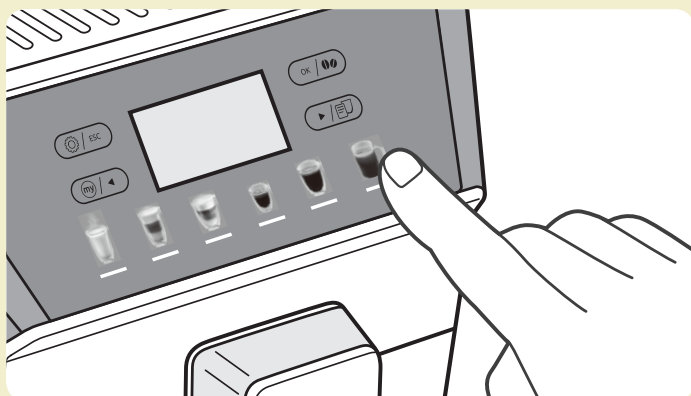
(火災、感電の原因)

※ 本製品は次の用途を含む家庭用電気製品です。使用者が必要なときに読めるよう、手の届く所に本書を保管してください。

- ・店舗、事務所、仕事場などのスタッフ用キッチン
- ・ファームハウス
- ・ホテル、旅館、民宿などの宿泊施設

コーヒーマシンのご紹介

コーヒーマシンでできること



ワンタッチで挽きたて本格コーヒー

見やすい液晶パネルとカラーのメニューアイコンを搭載した操作しやすくスタイリッシュなデザイン。

豊富なメニューバリエーションを楽しめます。

いろいろなメニューがこれ一台で

ラテクレマシステムで、ふわふわミルクも簡単。カプチーノやカフェラテはもちろん、カフェで飲むようないろいろなメニューが楽しめます。



最適な抽出技術で理想的なエスプレッソ

まるでバリスタが入れたような、ふかふかなクレマ（表面を覆う細かい泡）を実現。グラニュー糖を載せてもすぐには沈まない厚みのあるクレマが、エスプレッソの香りを包み込みます。



日本限定メニュー「カフェ・ジャポネ」



ハンドドリップのように豆を蒸らしながら抽出する深蒸しレギュラーコーヒー機能。エスプレッソの旨味とドリップのすっきりした後味が融合した日本人好みのメニューです。

※イラストはイメージです。実際の抽出方法とは異なります。

お好みのコーヒーにカスタマイズ

コーヒーの濃さ（1回に挽く豆量）やコーヒーの量、抽出温度を選べます。好みに合わせたコーヒーが楽しめます。

自動洗浄で内部はいつも清潔

自動はコーヒーの抽出だけではなく。コーヒーマシンの電源を入れたとき、切るときには自動で内部を洗浄するので、前回の汚れを気にする必要がありません。



一般的な全自動コーヒーマーカー

デロンギ全自動コーヒーマシン

コーヒーをいれるまでの流れ

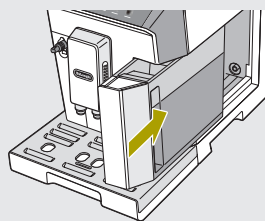
初めてお使いになる前の準備

本体内部の空気抜き
(12 ページ)

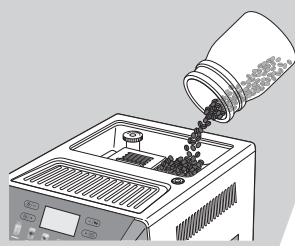
水硬度の確認
(12 ページ)

コーヒーをいれるときの流れ (14 ページ)

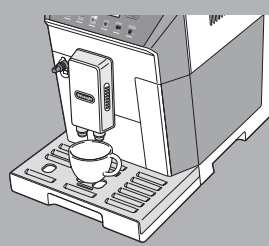
水タンクに水を入れて
セットする



コーヒー豆を入れる



カップをセットする



コントロールパネル
のメニューアイコン、
またはドリンクメ
ニューからコーヒー
を選び OK を押す

コーヒー粉でいれることもできます。(18 ページ)

コーヒーマシンのご紹介（つづき）

こんなメニューが作れます

ワンタッチ（メニューアイコン）で抽出できるメニューは、通常のエスプレッソ、スペシャルティ、カフェ・ジャポネ、カプチーノ、ラテマキアート、ミルクの6種類。

ドリンクメニューからはメニューアイコン以外のコーヒーやミルクメニュー、2杯抽出、給湯機能が選べます。

コーヒーメニュー

[メニューアイコンからワンタッチ抽出]



エスプレッソ

イタリアの伝統的コーヒーの代表格。濃厚で深い味わいの香り豊かなコーヒー。さまざまなバリエーションのベース。



スペシャルティ

フルーティー※1なライトコーヒー。豆のテロワール※2を最大限に表現し、すっきりとした繊細な味わいを演出。

※1ご使用される豆により異なります ※2産地特徴



カフェ・ジャポネ

深蒸しレギュラーコーヒー機能。豆をハンドドリップしたように蒸らしながら抽出。芳醇な香りと旨味を実現。



[ドリンクメニュー から抽出]

ドッピオ+

コーヒー豆を贅沢に使用した、香り高く濃密なコーヒー。力強い風味で余韻が長く続くのが特徴。

ロングコーヒー

エスプレッソのコクを残しつつ、すっきりとした味わいのレギュラーコーヒー。

エスプレッソラージ

エスプレッソを通常より長い時間抽出。アイスコーヒーやアフガーダなどのアレンジにも使いやすいメニュー。

ミルクメニュー

[メニューアイコンからワンタッチ抽出]



カプチーノ

“イタリアの僧侶の頭巾”という意味から名付けられたカプチーノ。エスプレッソにフロスミルクをたっぷり加えて作ります。



ラテマキアート

マキアートはイタリア語で「染み」という意味。エスプレッソにフロスミルクを注いで作ります。



ミルク

フロス調整つまみによりお好みでスチームミルクやフロスミルクを作ります。

[ドリンクメニュー から抽出]

カフェラテ

エスプレッソにたっぷりのスチームミルクを加え、仕上げに少量のフロスミルクを表面に浮かび上がるように注いで作ります。

フラットホワイト

多めのエスプレッソに、フロスミルクを注いで作る、オーストラリアやニュージーランドで人気のメニュー。コーヒーの味が強いのが特徴。

カプチーノ MIX

エスプレッソの後にフロスミルクを注ぐことで、ミルクとコーヒーのフレーバーが調和します。

材料と道具を用意しましょう

おいしいエスプレッソのために

コーヒー豆

エスプレッソ用として売られているものや、やや深煎りのコーヒー豆（ハイロースト、シティロースト、フルシティローストなど）がよいでしょう。

挽いてあるコーヒー豆を使う場合は、極細挽きや細挽きが適しています。



ご注意

- インスタントコーヒー、ココアパウダーはお使いいただけません。
- 過度に油分の多いコーヒー豆は、豆を挽くグラインダーに引き込まれにくくなるため、使用を避けてください。
- フレーバーコーヒーを使う場合は、あらかじめ挽いたもの（粉）をお使いください。

水

水道水や軟水（硬度：90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。

ご注意

- 硬水を使用すると、カルキ分が詰まりやすくなり、故障の原因となる場合があります。
- ミネラルウォーターや浄水器を通した水を使用する場合は、残留塩素の殺菌効果がないため、カビなどが発生しやすくなります。衛生上、各部の定期的なお手入れ（29 ページ）を必ず行ってください。



カップ

厚みがあり、底がすぼまった形のものが、冷めにくくおすすめです。

エスプレッソには、容量 60mL 前後のものが適しています。

カプチーノには、高さ 12cm 以内で容量 180mL 前後のものが適しています。



カプチーノやカフェラテを作るときは

牛乳

成分無調整で、乳脂肪分 3.0% 以上の新鮮でよく冷えた牛乳をお使いください。牛乳は使う直前まで冷蔵庫に入れておきましょう。



ミルクジャグ

口径が小さく、深めで、使う牛乳の倍の容量のあるものをご用意ください。

手で温度を感じやすい厚手のステンレス製がおすすめです。



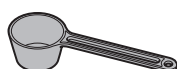
はじめにご確認ください

必ず「安全上のご注意」を確認してください

本体を設置する前に「安全上のご注意」(2 ページ)をお読みください。

付属品を確認してください

以下の付属品がすべて揃っているか確認してください。万一、付属されていない場合は、お求めの販売店、または当社(42 ページ)にご相談ください。



計量スプーン



水硬度チェッカー

初めてお使いになる
ときに使用します。
「水硬度の確認」(12
ページ)をご覧ください。



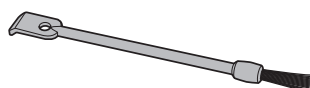
ウォーター
フィルター

マシン内部への石灰分
の付着を軽減します。
「ウォーターフィル
ターの取り付けかた」
(13 ページ) をご覧く
ださい。



コーヒーマシン用
除石灰剤

水に含まれる石灰成分
を除去するために使用
します。
「石灰を除去する」(35
ページ) をご覧ください。

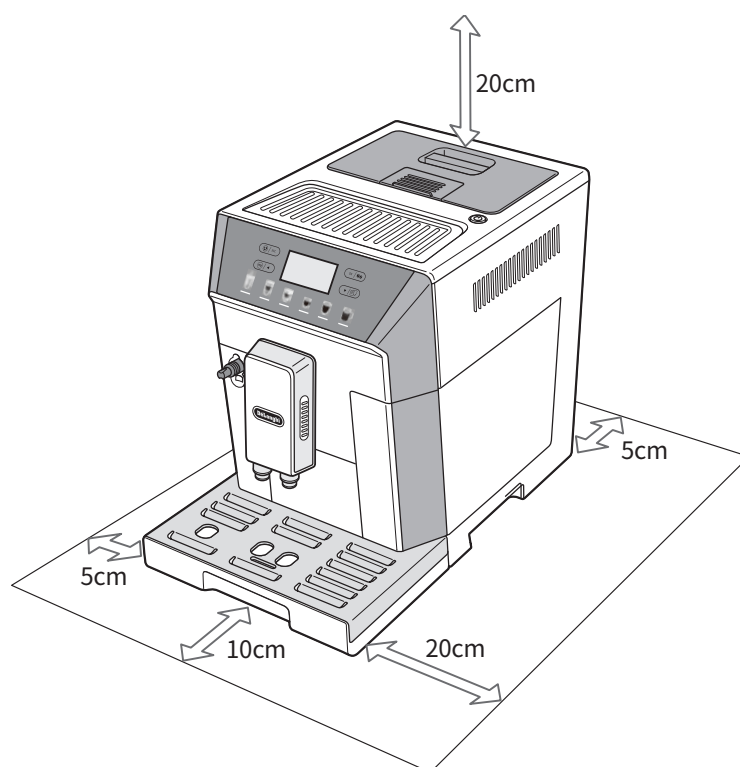


クリーニングブラシ

設置スペースを確認してください

本製品は、左側と背面側を5cm以上、右側と上部を20cm以上空けて設置してください。

室温が0°C以下になる場所には設置しないでください。製品内に残る水分の凍結により、故障の原因となることがあります。

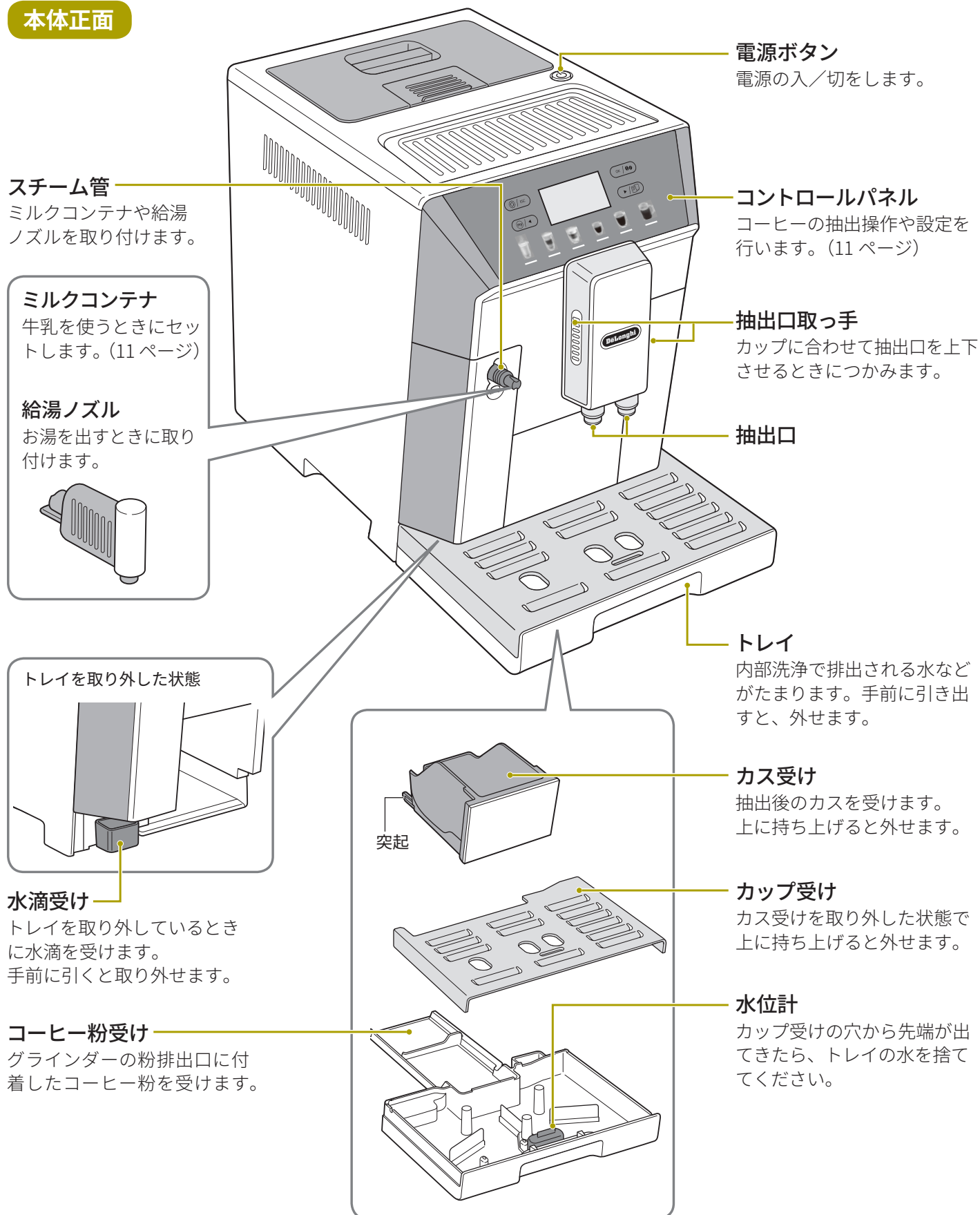


各部のなまえとはたらき

ご使用前に保護フィルムなどを取り除いてください。

本製品は、水とコーヒー豆を使った抽出試験を工場で行って出荷されているため、本体内部に水滴跡やコーヒーのカスが付着していることがあります。汚れが気になる場合は、ご使用前に「お手入れ」(29 ページ) をご覧になり、汚れた部分を洗ってください。

本体正面

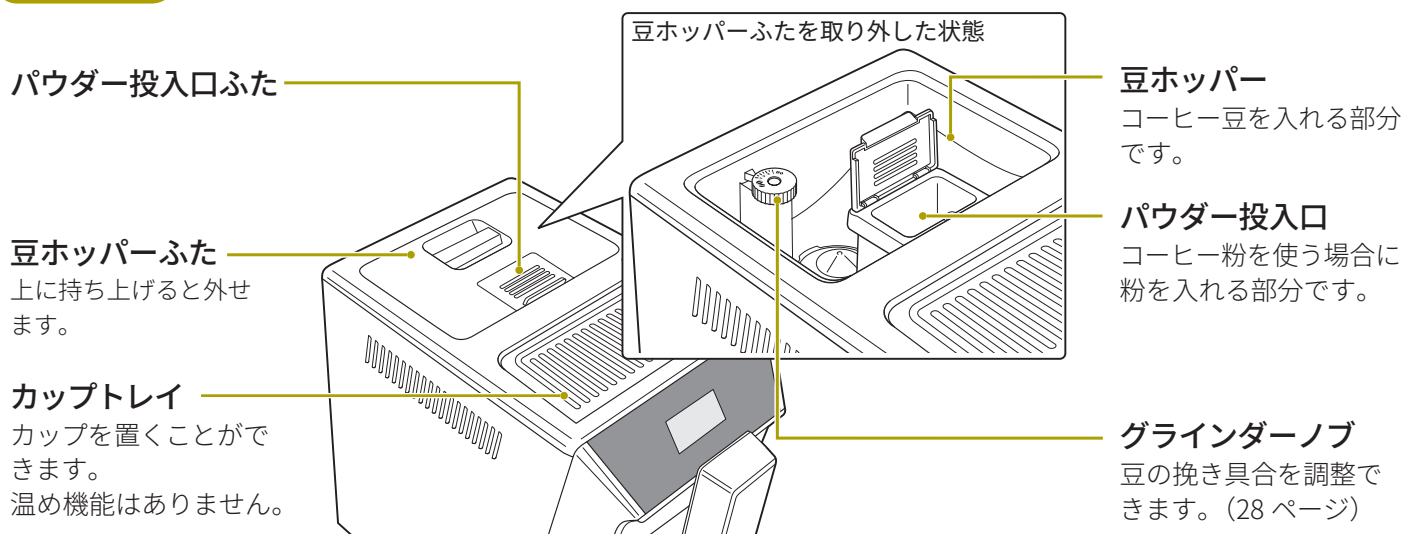


はじめに確認してください

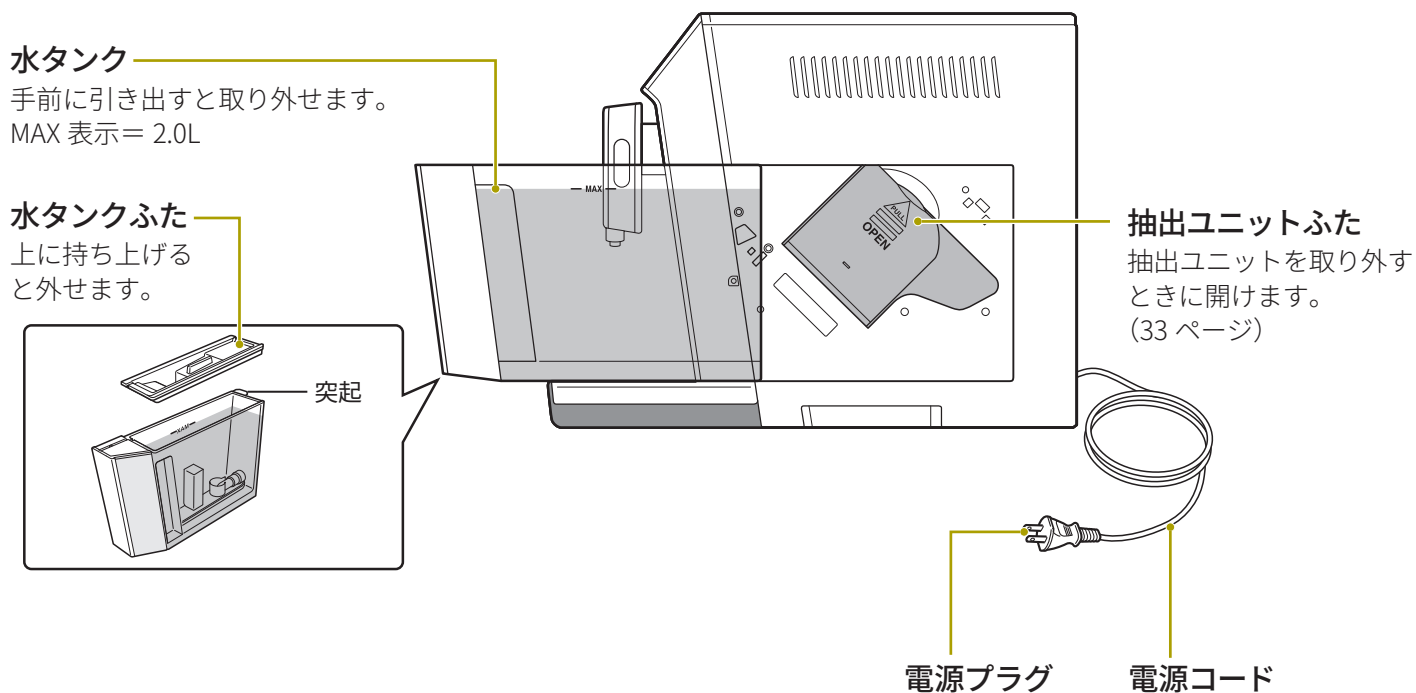
各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき (つづき)

本体天面

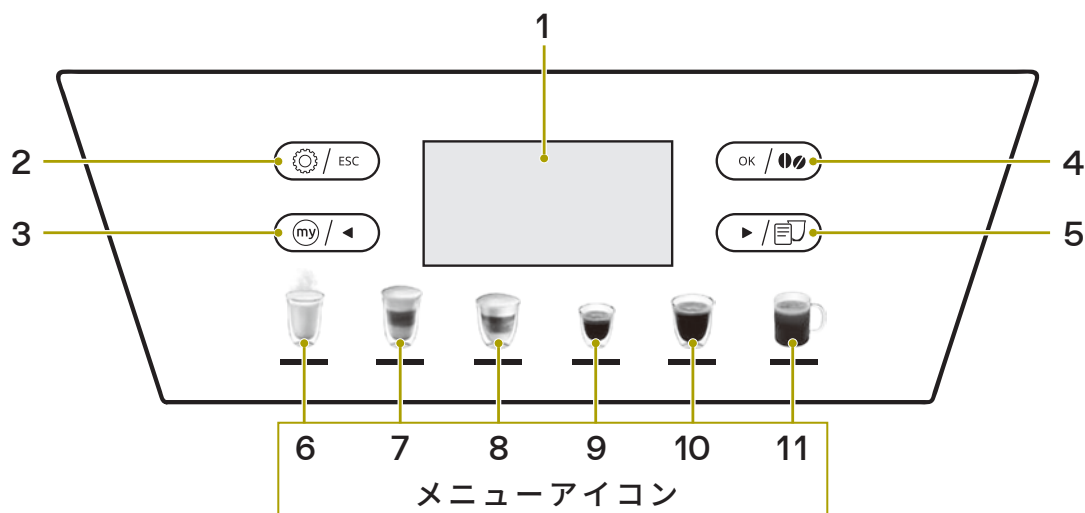


本体側面



コントロールパネル

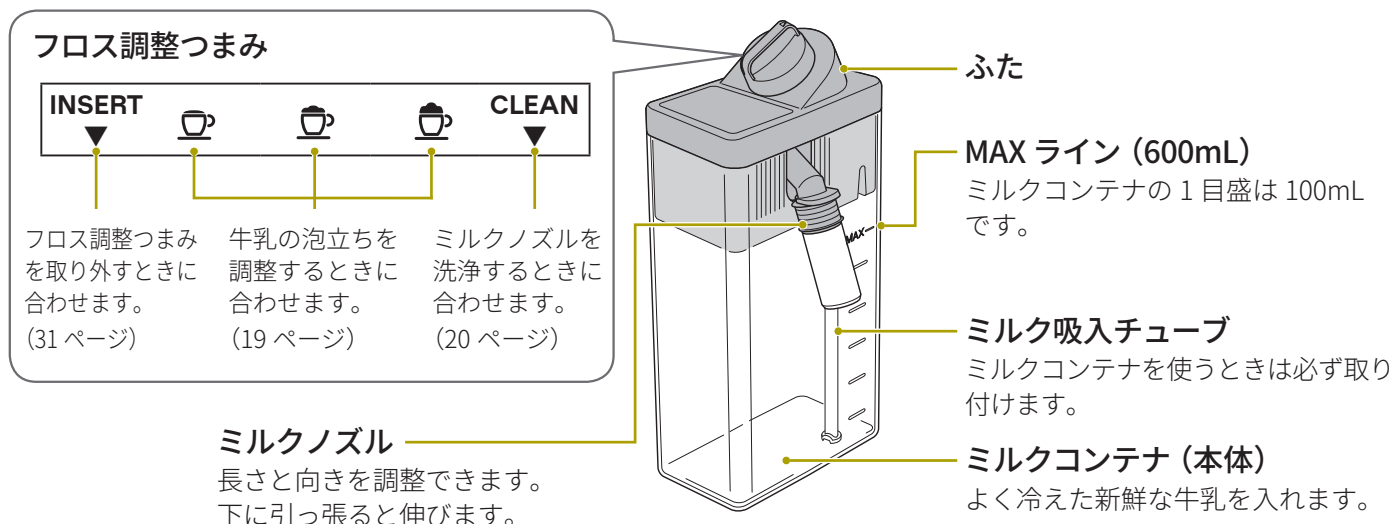
※ タッチセンサー式です。



番号	名称	説明	番号	名称	説明
1	液晶ディスプレイ	本体の設定や状態をテキストで表示します。(37 ページ)	6	ミルク	ホットミルクを作ります。(19 ページ)
2	設定 / ESC	<ul style="list-style-type: none"> 設定画面への切り替えをします。 機能設定時に操作を完了またはキャンセルし、メイン画面に戻ります。 	7	ラテマキアート	ラテマキアートを抽出します。(19 ページ)
3	MY メニュー / ◀	<ul style="list-style-type: none"> ドリンクをカスタマイズ(定量設定)します。 設定メニューを戻します。 	8	カプチーノ	カプチーノを抽出します。(19 ページ)
4	OK / 豆量調整	<ul style="list-style-type: none"> 操作を確定します。 コーヒーの濃さ(豆の量)を調整します。 	9	エスプレッソ	エスプレッソを抽出します。(17 ページ)
5	▶ / ドリンクメニュー	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューを進めます。 ロングコーヒー、エスプレッソラージ、ドッピオ+、カフェラテ、フラットホワイト、カプチーノ MIX、エスプレッソ x2、ロングコーヒー x2、エスプレッソラージ x2、給湯の中からメニューを選んで抽出します。 ※ x2 は 2 杯抽出です。 	10	スペシャルティ	スペシャルティを抽出します。(17 ページ)
			11	カフェ・ジャポネ	カフェ・ジャポネを抽出します。(17 ページ)

ミルクコンテナ

カプチーノなどのミルクメニューを作るときにスチーム管に取り付けます。



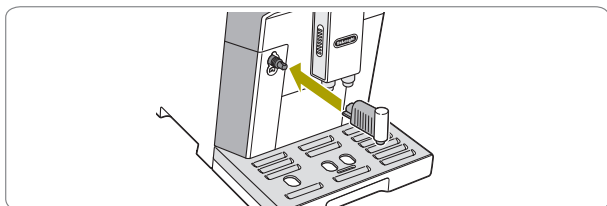
初めてお使いになる前に必ずすること

初めてお使いになるときは、必ず「空気抜き」と「水硬度の確認」を行ってください。

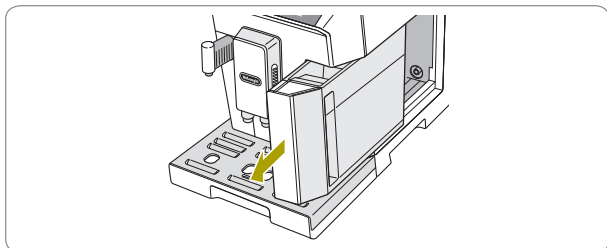
空気抜き

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む
「ゲンゴセッテイ ニホンゴ」と表示された場合は OK を押してください。

- 2 給湯ノズルを本体に取り付ける
しっかり奥まで差し込んでください。

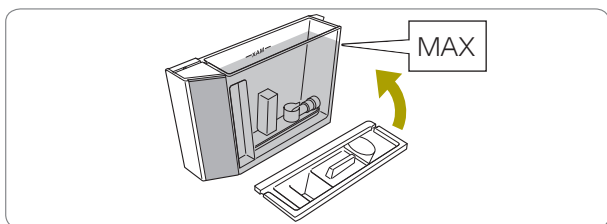


- 3 水タンクを手前に引いて取り外す



水タンクは取り扱いに注意してください。破損すると、水漏れや動作不良の原因になります。

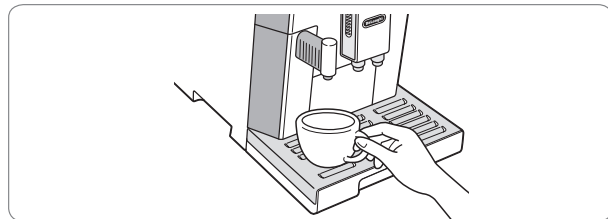
- 4 水タンクに水を入れる
「MAX」の目盛りまで水を入れ、ふたをします。



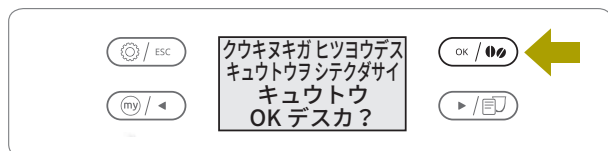
ふたの前後の向きが逆の場合、水タンクが正しく取り付けられません。

- 5 水タンクを本体に取り付ける
しっかり奥まで差し込んでください。

- 6 給湯ノズルの下に、容量 100mL 以上のカップを置く



- 7 OK を押して空気抜きを開始する



液晶ディスプレイに「キュウトウ シバラクオマチクダサイ」と表示され給湯ノズルから水が出ます。

空気抜きを開始して水が出ている間は、大きな音がしますが、故障ではありません。空気が抜けると音は小さくなります。

空気抜きが完了すると、水が止まり自動的に電源が切れます。

知っておいていただきたいこと

普段の使用時に、大きな音がしてコーヒーやお湯が出ない場合は、本体の水経路に空気が入っている可能性があります。その場合は、空気を抜くためにドリンクメニューから「給湯」を選択し、給湯を行ってください。(21 ページ)

水硬度の確認

お使いになる水の硬度レベルが高い(硬水)の場合、水の石灰分が内部管などに付着しやすくなります。

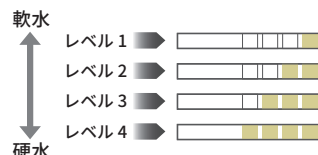
本製品は、石灰分の除去が必要な時期になると、液晶ディスプレイの表示でお知らせします。(38 ページ)

水硬度レベルによってお知らせする頻度が変わりますので、あらかじめ水硬度を確認してください。

お買い上げ時には、水硬度レベルは 1 に設定されています。

お使いになる水の硬度レベルが 2 以上の場合は、「水硬度を設定する」をご覧ください。(25 ページ)

1. 水硬度チェッカーを、コーヒーをいれるときに使う水に、約 1 秒間浸して取り出す
2. 軽く振って約 1 分待つ
3. ピンク色になった四角の数を確認する



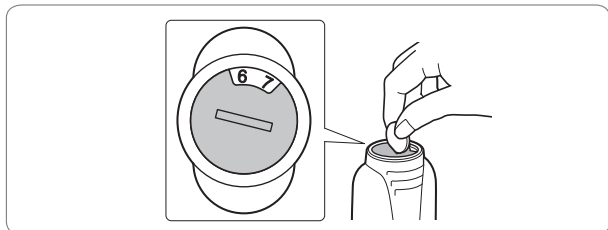
ウォーターフィルターの取り付けかた

ウォーターフィルターは本体内部への石灰の付着を軽減します。本製品はウォーターフィルターの交換が必要な時期になると液晶ディスプレイの表示でお知らせします。(38 ページ)



- 湿気の少ない冷暗所で保管し、開封後はすぐに使用する
- 石灰の除去をする前に取り外す

1 フィルター上部のカレンダーディスクを回し、数字（使用開始月）を左側に合わせる

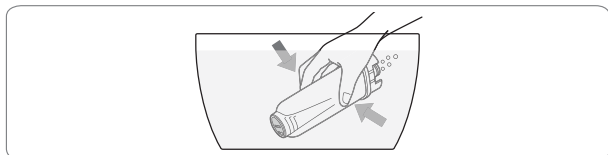


左（6月）が使用開始月で、右（7月）が次の交換月の目安です。

2 側面の開口部から水が出るまで、フィルターの穴に1分以上水道水を流す

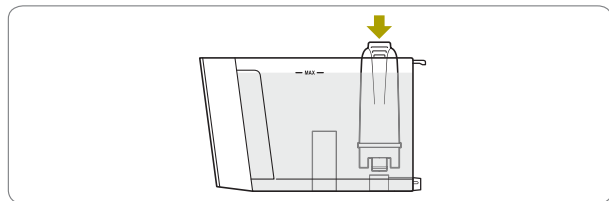
3 水を入れた容器にフィルターを入れ、フィルターから空気が抜けるように傾け、約10秒間完全に沈める

水タンクの中で空気を抜くこともできます。



4 コーヒーマシン本体から水タンクを取り外し、水を入れる

5 水タンクのウォーターフィルター取り付け部に奥までしっかり差し込む



6 水タンクにふたをして、本体にセットする

7 歯車アイコンを押して設定画面を表示する

8 ◀または▶を押して「メンテナンス」と表示されたら、OKを押す

9 ◀または▶を押して「フィルターリセット」と表示されたらOKを押す

10 「OK デスカ?」と表示されたら、OKを押す

11 「キュートウ OK デスカ?」と表示されたら容量 500mL 以上の容器を給湯ノズルの下に置き、OKを押す


12 給湯が始まり、自動で止まる

フィルターが認識され、取り付け完了です。

初めてお使いになる前に必ずすること

フィルターの交換について

以下のようなときは交換が必要です。

- ディスプレイに「フィルターコウカン」やと表示された
- 使用開始から2か月経った（カレンダーディスク 手順 1 参照）
- 本製品を3週間以上使用しなかった

※ 石灰の除去を行う際には、必ずフィルターを取り外してください。

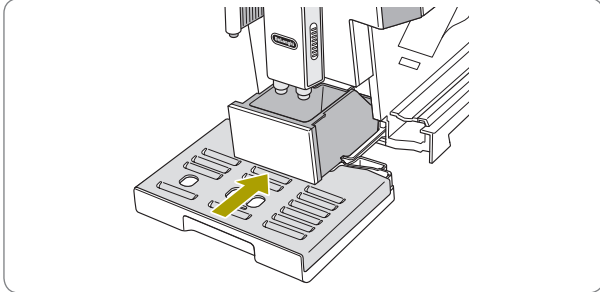
すぐ交換するときは、OKを押し、上記手順 9 の後、「フィルターコウカン」を選択する

あとで交換するときは、ESCを押してキャンセルする

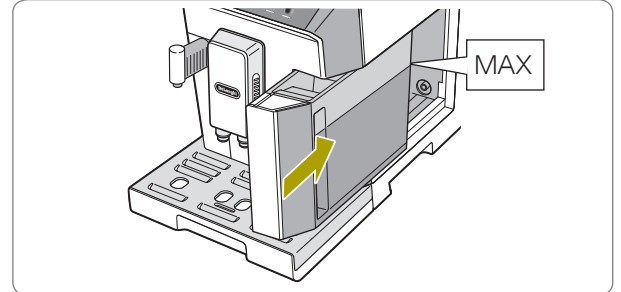
抽出前の準備をする

トレイと水タンクをセットする

- 1** トレイにカス受けをセットし、本体に取り付ける



- 2** 水タンクの「MAX」の目盛りまで水を入れ、ふたをして本体に取り付ける

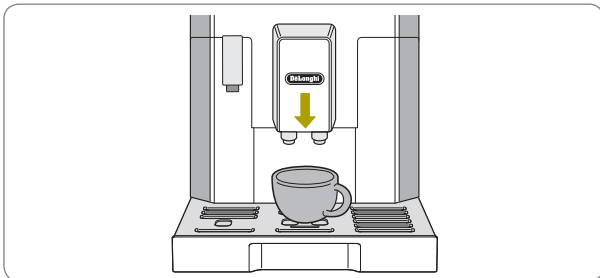


電源を入れる（自動内部洗浄）

本製品は、電源を入れるたびに自動で内部を洗浄します。

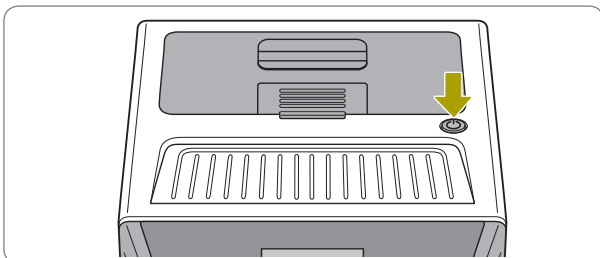
電源を入れる前に、水タンクに水を入れてください。水がないと、内部洗浄が行われず電源が入りません。

- 1** カップを置き、抽出口を下げてカップに近付ける

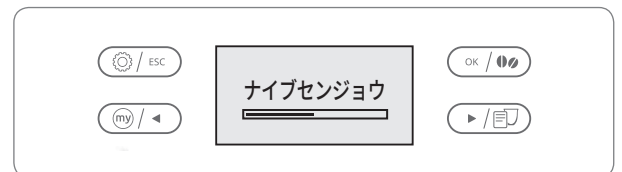


- 2** 本体上部の電源ボタンを押す

液晶ディスプレイに「ヨネツチュウ シバラクオマチクダサイ」と表示され、予熱を開始します。



予熱が完了すると液晶ディスプレイに「ナイブセンジョウ」と表示され、抽出口からお湯が出ます。



熱湯が出るので注意する
(やけどの原因)

内部洗浄中は、本体操作はできません。

自動内部洗浄が終了するとお湯が止まり、液晶ディスプレイにメイン画面が表示されます。
カップのお湯は捨ててください。

電源の切りかた(自動内部洗浄)

電源を切るときにも、毎回自動で内部を洗浄します。

ただし、電源を入れた後 1 杯も抽出しなかった場合は、電源を切っても内部洗浄は行われません。

1 カップを置き、抽出口を下げてカップに近付ける

2 本体上部の電源ボタンを押す

液晶ディスプレイに「デンゲンOFF シバラクオマチクダサイ」と表示され内部洗浄が始まり、抽出口からお湯が出ます。

お湯が止まり内部洗浄が終わると電源が切れます。



長時間使わない場合は電源を切り、電源プラグを抜く

内部洗浄について

- 本体が温まっているときは、自動で内部洗浄されないことがあります。
- 内部洗浄を行うと、カス受けに水がたまることがありますが、異常ではありません。
- オートオフ機能 (24 ページ) で電源が切れるときも、そこから電源を入れ直すときも、内部洗浄は行われます。電源を入れたままにしておくときは、カップなどをセットしておいてください。

電源の入／切時以外に内部洗浄を行うには

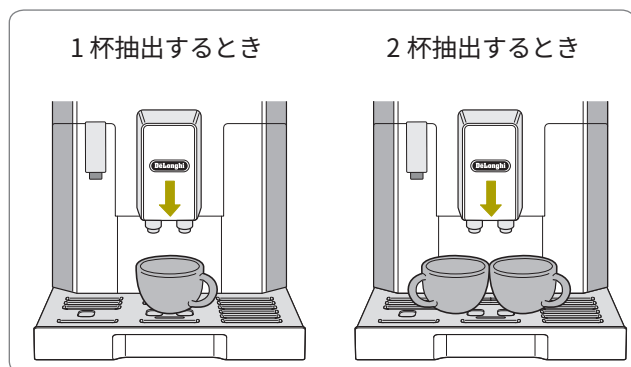
電源が入っているときは、いつでも内部洗浄を行うことができます。操作のしかたは、「手動内部洗浄を行う」(26 ページ) をご覧ください。

カップをセットする

1 カップ受けにカップを置く

2 抽出口を下げてカップに近付ける

コーヒー豆を使う場合



コーヒー粉を使う場合



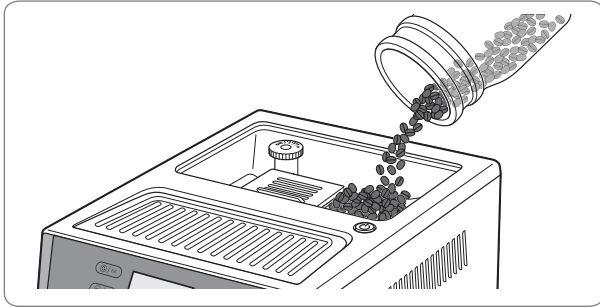
抽出前の準備をする(つづき)

コーヒー豆(またはコーヒー粉)を入れる

コーヒー豆を使う場合

- 1 豆ホッパーふたを取り外す
- 2 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる

目安量より多めに入れてください。



目安量

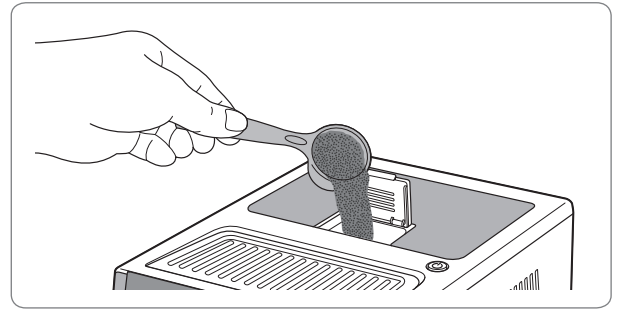
- エスプレッソ (1杯: 約6～11g 2杯: 約10～14g)
- スペシャルティ: 約8～14g
- カフェ・ジャポネ: 約10～18g
- ドッピオ+: 約15g

数値は目安です。お使いになるコーヒー豆の状態や挽き具合の設定によって、挽かれる豆の量は変わります。

- 3 豆ホッパーふたを取り付ける

コーヒー粉を使う場合

- 1 パウダー投入口ふたを開ける
- 2 パウダー投入口にコーヒー粉を入れる



目安量

計量スプーンすり切り～山盛り1杯
(約6～11g)

山盛り1杯を超える量はいれないでください。



電源が切れているときはコーヒー粉を入れない(粉が内部で飛び散ります)

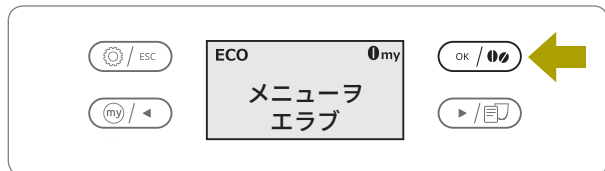
- 3 パウダー投入口ふたを閉じる

コーヒーを抽出する

コーヒー豆から抽出する場合

抽出前の準備(14 ページ)を行って、液晶ディスプレイにメイン画面が表示された状態で始めてください。

1 設定アイコンを押し、豆量を設定する



押すたびに以下のとおり豆量(濃さ)が切り替わります。

MY テイスト	EX マイルド	マイルド	スタンダード	ストロング	EX ストロング	コーヒー 粉
0 my	0	00	000	0000	00000	

初期設定 薄い (少ない) ← 豆からの抽出 → 濃い (多い) 粉からの抽出時に選択

コーヒー豆から抽出するときは の設定はできません。

- ※ 初期設定はドッピオ+以外はスタンダードです。ドッピオ+は **00000+** と表示され、変更できません。
- ※ 設定は保存されず、次の抽出では初期設定での抽出となります。保存したい場合は「ドリンクをカスタマイズ(定量設定)する」(22 ページ)を参照してください。
- ※ 設定から約 10 秒後、初期設定に戻ります。

メニューアイコンから直接抽出する

エスプレッソ、スペシャルティ、カフェ・ジャポアーネはコントロールパネルのメニューアイコンから直接選択できます。

例) エスプレッソをいれる場合

2 抽出アイコンを押して抽出する



3 抽出が始まり、液晶ディスプレイに抽出過程が表示される



インジケータが最後まで進むと自動で停止します。エスプレッソは 2 杯抽出することができます。2 杯抽出するときは、抽出中に液晶ディスプレイに **X2** が表示されているときに ▶ を押してください。

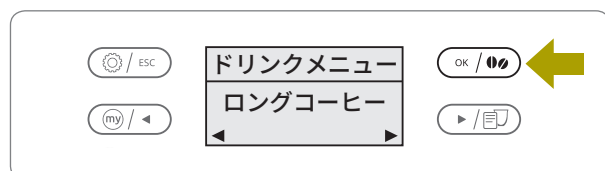
カフェ・ジャポアーネを選択したときは、給湯・蒸らしを繰り返す間欠抽出を 2 回行います。定量設定で抽出量を 120mL 以下に設定した場合は 1 回抽出となります。

ドリンクメニューから抽出する

エスプレッソラージ、ロングコーヒー、ドッピオ+、エスプレッソx2、エスプレッソラージx2、ロングコーヒーx2 はドリンクメニューから選択できます。

例) ロングコーヒーをいれる場合

2 抽出アイコンを押し、メニューを選択し、OKを押して抽出する



3 抽出が始まり、液晶ディスプレイに抽出過程が表示される



インジケータが最後まで進むと自動で停止します。エスプレッソラージ、ロングコーヒーは 2 杯抽出することができます。2 杯抽出するときは、抽出中に液晶ディスプレイに **X2** が表示されているときに ▶ を押してください。

ドッピオ+は 2 杯抽出できません。

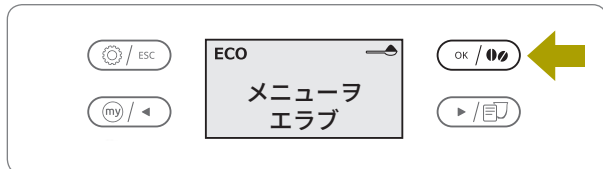
- 2 杯抽出の場合、左右のカップに入るコーヒーの量に多少の差が生じることがあります。差が大きい場合は、抽出口の高さを変更して差が軽減されるか試してください。改善されないときは、「故障かな?」(39 ページ)を参照してください。

コーヒーを抽出する(つづき)

コーヒー粉から抽出する場合

抽出前の準備(14 ページ)を行って、液晶ディスプレイにメイン画面が表示された状態で始めてください。

1 電源ボタンを押し、メニューアイコンを選択する



コーヒー粉から抽出する場合は、コーヒーの濃さは変わりません。

2 お好みのコーヒーメニューを選択する

メニューアイコンもしくはドリンクメニューからお好みのメニューを選択します。(17 ページ)

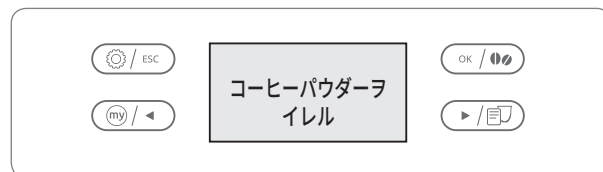
液晶ディスプレイに選択したメニューが表示され、抽出が始まり、インジケーターが最後まで進むと自動で停止し、ディスプレイはメイン画面に戻ります。

ドッピオ+、2杯抽出メニュー(x2)はコーヒー粉から抽出しないでください。

カフェ・ジャポネを抽出する

給湯・蒸らしをくり返す間欠抽出を2回行うため、抽出の途中でコーヒー粉を補充する必要があります。

1 手順2の途中で「コーヒーパウダーライレル」と表示されたら、コーヒー粉を追加する



山盛り1杯を超える量はいれないでください。

2 OKを押し、抽出を再開する

インジケーターが最後まで進むと自動で停止し、ディスプレイはメイン画面に戻ります。

抽出が終わったら

電源を切る場合は、「電源の切りかた(自動内部洗浄)」(15 ページ)の手順で、電源を切ってください。なお、電源を入れたままにしている場合、オートオフ機能(24 ページ)によって、設定された時間がくると電源が切れます。



抽出を途中で止めたいときは

抽出中に◀を押します。

抽出量を増やしたいときは

抽出終了後(ポンプの動作音が止まった後)EXTRA▶と表示されているうちに▶を押すと抽出量を増やせます。

◀STOPを押すと抽出が止まります。

より熱いコーヒーをいれるには

エスプレッソの温度は67～70℃前後が理想的ですが、より熱くしたいときは次のことをお試しください。

- 抽出温度を高くする(24 ページ)
- 給湯をしてカップを温める(21 ページ)
- 本体内部を温める(26 ページ)

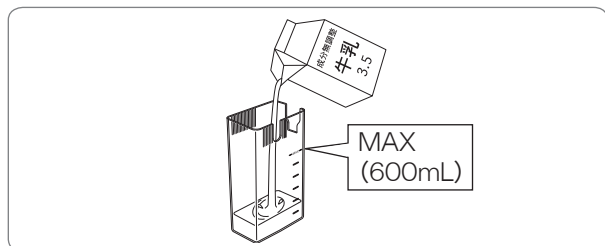
ミルクメニューを抽出する

抽出する前に「抽出前の準備をする」(14 ページ) をご覧ください。

ミルクメニューは、ミルクコンテナのふたにある「フロス調整つまみ」で作り分けることができます。

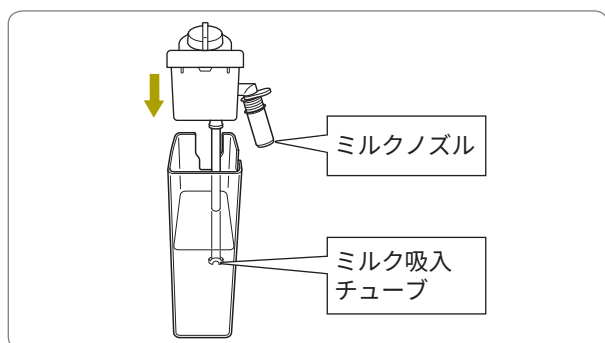
1 必要な分量の牛乳をミルクコンテナに入れる

1 杯あたり 30 ～ 150mL 程度の牛乳が必要です。
多めに入れてください。(41 ページ)



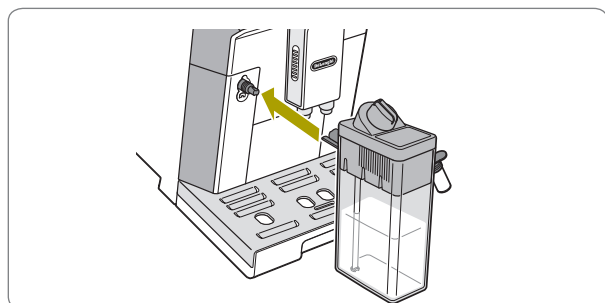
ミルクコンテナの 1 目盛は 100mL です。

2 ふたにミルク吸入チューブが差し込まれているのを確認し、ふたをする



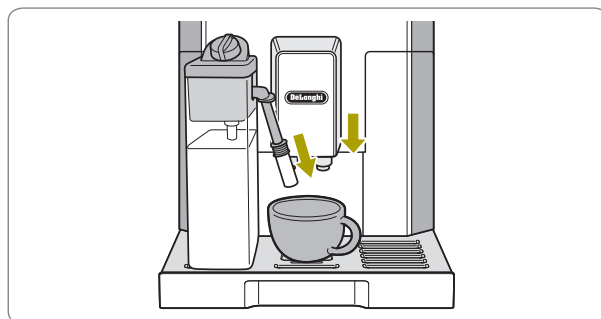
ミルクコンテナのノズルがコンテナの外に出るようにしてください。

3 ミルクコンテナをスチーム管にしっかり差し込む

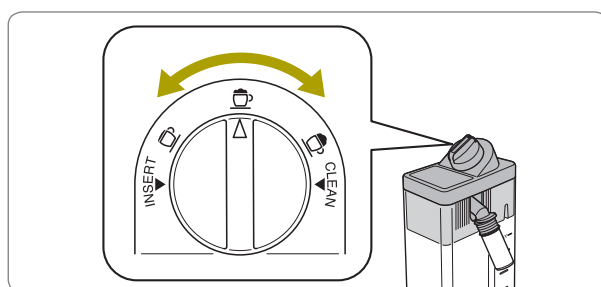


フロス調整つまみを取り外した状態で
ミルクコンテナを本体にセットしない
(やけどの原因)

4 カップを置き、ミルクノズルと抽出口を 下げてカップに近づける



5 ミルクコンテナのふたにある「フロス調 整つまみ」の位置を調整する



泡が小さい (ミルク温度 が低い)		泡が大きい (ミルク温度 が高い)
スチーム ミルク	フロスミルク 無段階で調整できます。	

6 お好みのミルクメニューを選択する

カプチーノ、ラテマキアート、ミルクはメニュー
アイコンから直接、カフェラテ、フラットホワイト、
カプチーノ MIX はドリンクメニューから選択して
ください。(17 ページ)

液晶ディスプレイに選択したミルクメニューの抽出
過程が表示されます。

インジケーターが最後まで進むと自動で停止します。

「ツマミヲ CLEAN ニアワセル」と表示されたら、毎回
必ずミルクノズルの洗浄をしてください。(20 ページ)

コーヒーを抽出する(つづき)

ミルクメニューを抽出する

- 豆量を設定する場合は、手順 6 の前に設定します。(17 ページ)
- 豆量や抽出量の設定は「ドリンクをカスタマイズ(定量設定)する」(22 ページ)を参照してください。
- 抽出を途中で止めたいとき、抽出量を増やしたいときは「ヒント」(18 ページ)を参照してください。

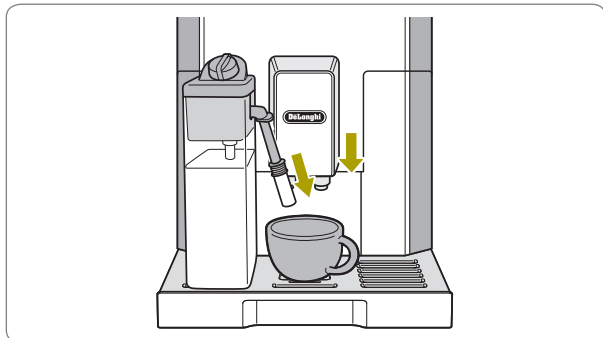
ミルクメニューを抽出する (つづき)

ミルクノズルを洗浄する

牛乳を泡立てたときは毎回行ってください。

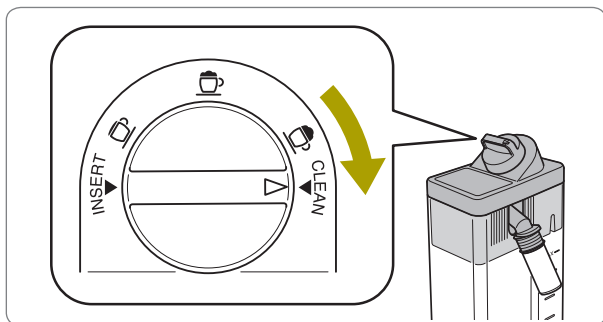
ミルクメニューを抽出後、液晶ディスプレイに「ツマミヲ CLEAN ニアワセル」と表示されます。

- 1** ミルクコンテナを取り付けたまま、ミルクノズルの下に空の容器を置く



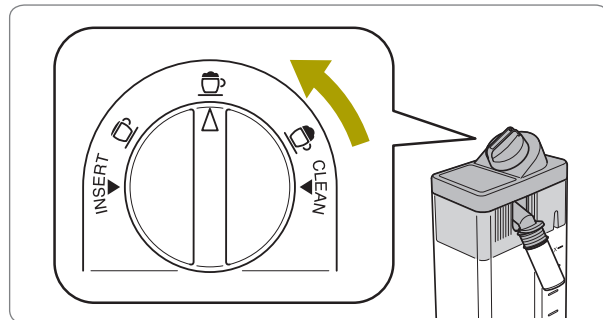
- 2** フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせて、洗浄を開始する

熱湯が出てミルクノズルを自動洗浄します。



インジケーターが最後まで進むと自動で停止します。

- 3** フロス調整つまみを「CLEAN」の位置から ☕ ~ ☕ に戻す



衛生を保つため、次のことをお守りください。

- 一日の終わりには、ミルクコンテナに残った牛乳は必ず廃棄し、十分に洗浄してください。(31 ページ)
- すぐに廃棄しないときは、一時的にミルクコンテナを冷蔵庫に入れるなど、衛生面にご注意ください。
- 必ずミルクノズルもお手入れしてください。(31 ページ) スチーム管に付いた牛乳が乾いてかたまってしまうと、故障の原因となります。



以下の場合にトレイから蒸気が出たり、トレイにお湯が少量たまりますが、異常ではありません。

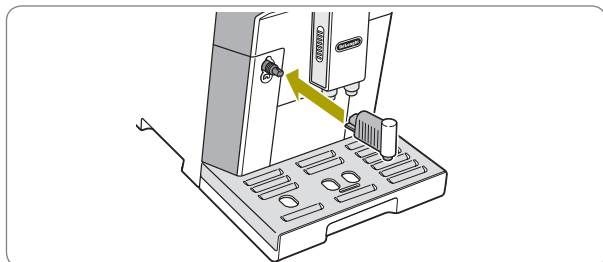
- 牛乳を泡立てた後
- フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせてミルクノズルを洗浄した後

牛乳を泡立てた直後や、ミルクノズルを洗浄した直後に、トレイを引き出さない（お湯が漏れる原因）

給湯する

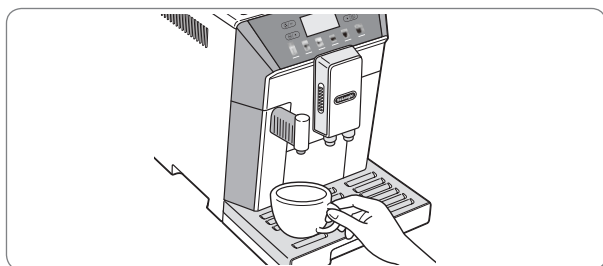
給湯ノズルを使ってカップを湯煎して温めたり、紅茶やお茶が楽しめます。

1 給湯ノズルを取り付ける

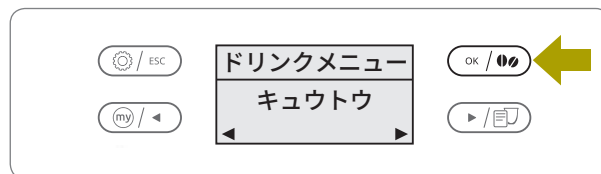


給湯ノズルは奥までしっかりと差し込んでください。

2 給湯ノズルの下にカップを置く



3 給湯メニューを押す、液晶ディスプレイに「キュウトウ」が表示されるまで◀または▶を押してOKを押す



給湯ノズルからお湯が出ます。
インジケーターが最後まで進むと自動で停止し、ディスプレイはメイン画面に戻ります。

給湯を途中で止めたいときは◀を押します。

節電モードがON (入) に設定されていると、予熱のため抽出開始まで少し時間がかかる場合があります。その際はそのままお待ちください。

ドリンクをカスタマイズ(定量設定)する

コーヒーの豆量、コーヒーや牛乳の抽出量をカスタマイズ(定量設定)できます。

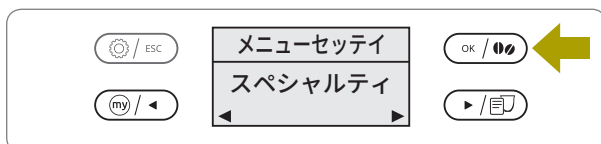
ドリンクをカスタマイズ(定量設定)する

- 1** 抽出口の下に適量のサイズのカップを置く
ミルクメニューを設定するときにはミルクコンテナも取り付けてください。

- 2** **my**を押す

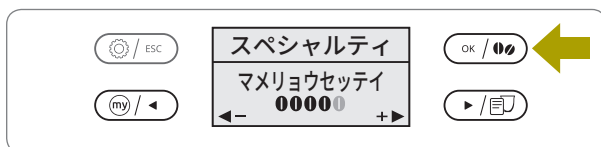


- 3** 設定したいメニューを◀または▶を押して選択し、OKを押す



よく選ぶメニューが上位に表示されます。

- 4** ◀または▶を押して豆量を選び、OKを押して抽出する



ドッピオ+は豆量を変更できません。

- 5** お好みの量が抽出されたところで◀を押す



設定可能な量になるまで◀STOPは表示されません。

コーヒーメニュー：豆量→コーヒー抽出量

ミルクメニュー：豆量→ミルク抽出量→コーヒー抽出量

カプチーノMIX：豆量→コーヒー抽出量→ミルク抽出量

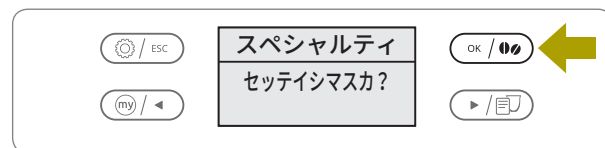
フラットホワイト

ミルク：ミルク抽出量

給湯：給湯量

の順で設定します。

- 6** 「セッティシマスか？」の表示がでたら、OKを押して設定を完了する



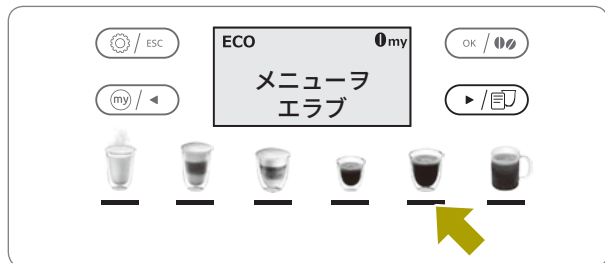
設定しない場合はESCを押します。

ミルクメニューの定量設定をした後は、必ずミルクノズルの洗浄をしてください。(20 ページ)

カスタマイズしたドリンクを抽出する

- 1 出口の下に適量のサイズのカップを置く
ミルクメニューを抽出するときにはミルクコンテナも取り付けてください。

- 2 メニューを選択し抽出する



メニューアイコンもしくはドリンクメニューからお好みのメニューを選択します。(17 ページ)

- 3 液晶ディスプレイに抽出過程が表示される

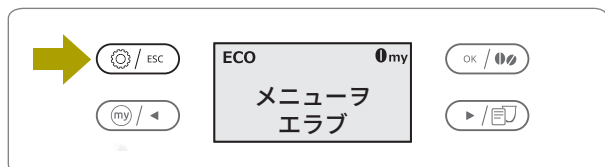


設定した豆量が表示され、抽出が始まります。インジケーターが最後まで進むと自動で停止します。

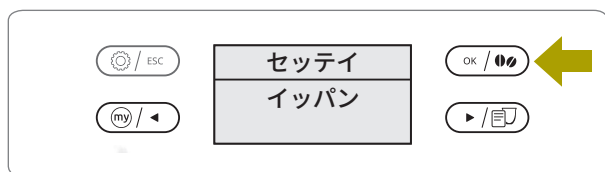
定量設定のリセット

メニューごとに設定した豆量と抽出量を出荷時の状態にリセットすることができます。

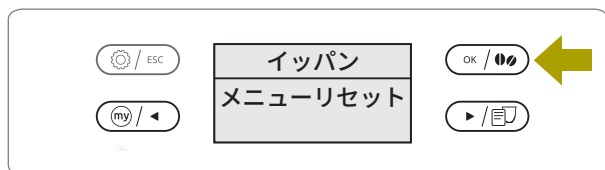
- 1 設定アイコンを押し、設定画面を表示する



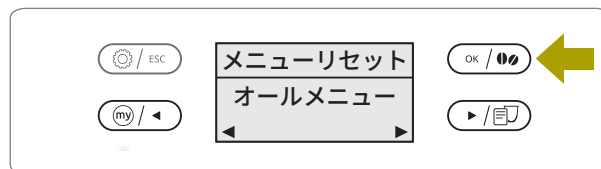
- 2 液晶ディスプレイに「イッパン」が表示されるまで◀または▶を押してOKで確定する



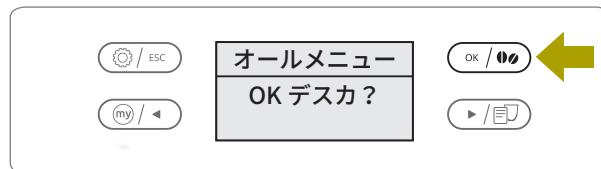
- 3 ◀または▶を押して「メニューリセット」を選択し、OKで確定する



- 4 すべてのメニューをリセットするときはオールメニューを、特定のメニューだけリセットするときはメニュー名を◀または▶を押して選択し、OKで確定する



- 5 「OK デスカ？」と表示されたら、OKで確定する



「リセットカンリョウ」と表示されます。
続けて他のメニューをリセットするときは、手順4からくり返します。
メイン画面に戻るときはESCを3回押します。

便利な機能、その他の機能

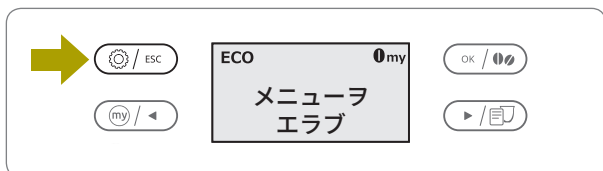
自動で電源が切れるまでの時間を設定する（オートオフ）

何も操作しない時間が続いたときに、自動的に本体の電源が切れるまでの時間を設定します。
お買い上げ時には、2 時間後に電源が切れるように設定されています。

オートオフ機能は解除できません。

オートオフ機能で電源が切れるときも自動内部洗浄が行われ、抽出口から熱湯が出ますのでご注意ください。

- 1  を押し、設定画面を表示する



- 2 液晶ディスプレイに「イッパン」が表示されるまで ◀または▶ を押して OK で確定する

- 3 ◀または▶ を押して「オートオフ」を選択し、OK で確定する

- 4 ◀または▶ を押して自動で電源を切るまでの時間を選択し、OK で確定する

「15 分」「30 分」「1 時間」「2 時間」「3 時間」から選択できます。

メイン画面に戻るときは ESC を 2 回押します。

消費電力を抑える（節電モード）

節電モードの ON/OFF（入/切）を設定します。お買い上げ時には、ON（入）に設定されています。
節電モード中は、待機時の消費電力を抑えるため予熱をしません。

- 1  を押し、設定画面を表示する

- 2 液晶ディスプレイに「イッパン」が表示されるまで ◀または▶ を押して OK で確定する

- 3 ◀または▶ を押して「セツデンモード」を選択し、OK で確定する

- 4 再度 OK を押して確定する

現在の設定が上に、変更後の設定が下に表示されます。

節電モードが「入」になるとディスプレイに ECO が表示されます。

メイン画面に戻るときは ESC を 2 回押します。

節電モード中にコーヒーを抽出したり、給湯をしたりすると、予熱のため抽出開始まで少し時間がかかる場合があります。その際はそのままお待ちください。

抽出温度を設定する

お買い上げ時には、レベル 2 に設定されています。

- 1  を押し、設定画面を表示する

- 2 液晶ディスプレイに「イッパン」が表示されるまで ◀または▶ を押して OK で確定する

- 3 ◀または▶ を押して「オンドセッテイ」を選択し、OK で確定する

現在の設定温度（レベル）が表示され、変更後の設定温度（レベル）が点滅します。


- 4 ◀または▶ を押して好みのレベルを選択し、OK で確定する

抽出温度はレベル 1（低温）～レベル 3（高温）の 3 段階から選択できます。

メイン画面に戻るときは ESC を 2 回押します。

水硬度を設定する


お買い上げ時には、レベル 1 に設定されています。

- 1  を押し、設定画面を表示する
- 2 液晶ディスプレイに「イッパン」が表示されるまで◀または▶を押してOKで確定する
- 3 ◀または▶を押して「ミズコウドセッテイ」を選択し、OKで確定する
現在の水硬度レベルが表示され、変更後の水硬度レベルが点滅します。

- 4 ◀または▶を押して水硬度チェッカーで確認したレベル（12 ページ）を選択し、OKで確定する
メイン画面に戻るときは ESC を 2 回押します。

操作音（ビープ音）を設定する


お買い上げ時には ON（入）に設定されています。

- 1  を押し、設定画面を表示する
- 2 液晶ディスプレイに「イッパン」が表示されるまで◀または▶を押してOKで確定する

- 3 ◀または▶を押して「ソウサカクニンオン（ビープ）」を選択し、OKで確定する
現在の設定が上に、変更後の設定が下に表示されます。
- 4 再度 OK を押して確定する
メイン画面に戻るときは ESC を押します。

プログラムのリセット（初期設定）

設定を初期設定の状態に戻します。


- 1  を押し、設定画面を表示する
- 2 液晶ディスプレイに「イッパン」が表示されるまで◀または▶を押してOKで確定する

- 3 ◀または▶を押して「プログラムリセット」を選択し、OKで確定する
- 4 再度 OK を押して確定する
「リセットカンリョウ」と表示されます。
メイン画面に戻るときは ESC を 2 回押します。

便利な機能、その他の機能（つづき）

言語を設定する


ディスプレイに表示される言語を、日本語または英語に設定します。
お買い上げ時には、日本語に設定されています。

- 1  を押し、設定画面を表示する
- 2 液晶ディスプレイに「ゲンゴセッテイ」が表示されるまで◀または▶を押してOKで確定する

- 3 ◀または▶を押して設定したい言語を選択し、OKで確定する
メイン画面に戻るときは ESC を押します。

手動内部洗浄を行う（内部洗浄）


内部洗浄を行うと本体内部が温まるので、より熱いコーヒーをいれるのに効果的です。

- 1 容量 200mL 以上の容器を抽出口の下に置く
- 2  を押し、設定画面を表示する

- 3 ◀または▶を押して「ナイブセンジョウ」を選択し、OKを押す
給湯ノズルを取り付けているときは、抽出口の後に給湯ノズルからお湯が出ます。
インジケーターが表示され、内部洗浄が始まり、抽出口からお湯が出ます。
お湯が止まりメイン画面に戻ると、内部洗浄は完了です。
容器のお湯は捨ててください。
途中で止めたいときは ESC を押します。

使用履歴の表示

ドリンクを抽出した杯数、使用水量の累計（リットル）、除石灰回数、簡易洗浄回数、フィルター交換回数を表示します。


- 1  を押し、設定画面を表示する
- 2 ◀または▶を押して「ソウサリレキ」を選択し、OKで確定する

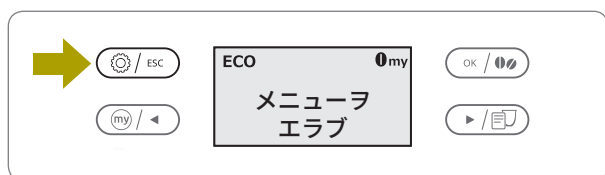
- 3 液晶ディスプレイに今までの使用履歴が表示される
◀または▶を押して確認したい履歴を表示させてください。
使用履歴を確認してメイン画面に戻るときは ESC を 2 回押します。

ウォーターフィルターの設定

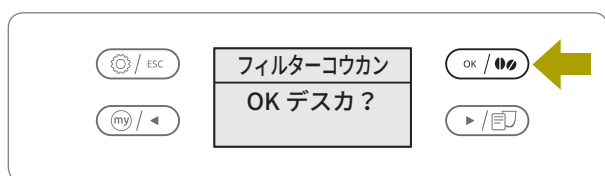
液晶ディスプレイに「フィルターコウカン」や  と表示されたらウォーターフィルターを交換または取り外してください。

ウォーターフィルターの交換

- 1 コーヒーマシン本体から水タンクを取り外し、ウォーターフィルターを外す
- 2 ウォーターフィルターの取り付けかた(13 ページ) の 1 ～ 6 の手順を行う
- 3  を押し、設定画面を表示する




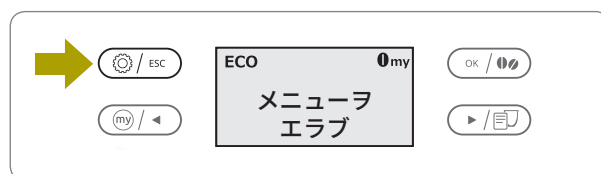
- 4 液晶ディスプレイに「メンテナンス」が表示されるまで ◀ または ▶ を押して OK で確定する
- 5 ◀ または ▶ を押して「フィルターコウカン」を選択し、OK で確定する
- 6 「キュウトウ OK デスカ？」と表示されたら OK を押す



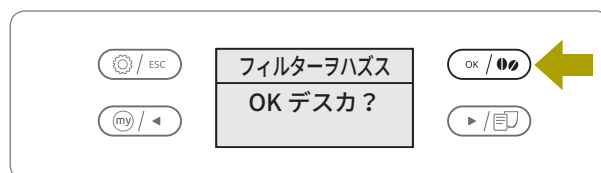
- 7 容量 500mL 以上の容器を給湯ノズルの下に置き、OK を押す
- 8 給湯が始まり、自動で止まる
フィルターが認識され、交換完了です。

ウォーターフィルターを取り外す場合

- 1 コーヒーマシン本体から水タンクを取り外し、ウォーターフィルターを外す
- 2  を押し、設定画面を表示する



- 3 「液晶ディスプレイに「メンテナンス」が表示されるまで ◀ または ▶ を押して OK で確定する
- 4 ◀ または ▶ を押して「フィルターヲハズス」を選択し、OK で確定する
- 5 「OK デスカ？」と表示されたら OK を押す



設定が完了したら ESC を 2 回押してメイン画面に戻ります。

便利な機能、その他の機能（つづき）

便利な機能、その他の機能（つづき）

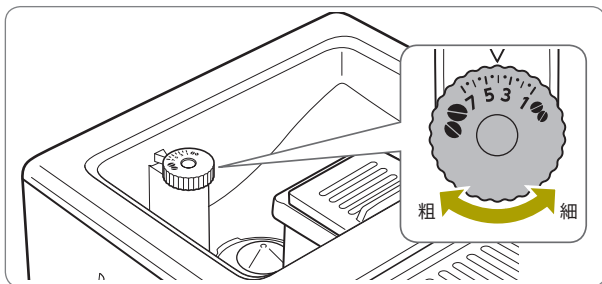
豆の挽き具合を調整する

通常はお買い上げ時の設定「5」のままお使いください。



グラインダーノブは、豆が挽かれているとき（グラインダーが作動中のとき）のみ回す
（故障の原因）

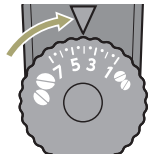
- 1 豆ホッパーふたを取り外す
- 2 コーヒーを抽出する
- 3 豆が挽かれている間（グラインダーが作動中）に、グラインダーノブを1目盛りだけ回す



豆の挽き具合は次の場合にのみ調整してください。

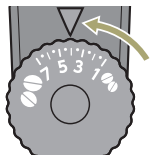
コーヒーが抽出されない、
または抽出が極端に遅い

粗い方（時計回り）に1目盛り回す



コーヒーが薄い、
またはもっとクリーミーにしたい

細かい方（反時計回り）に1目盛り回す



調整した後は、コーヒーを2杯以上抽出しないと効果が得られません。2杯以上抽出して効果が得られなかった場合は、もう一度調整してください。

お手入れ

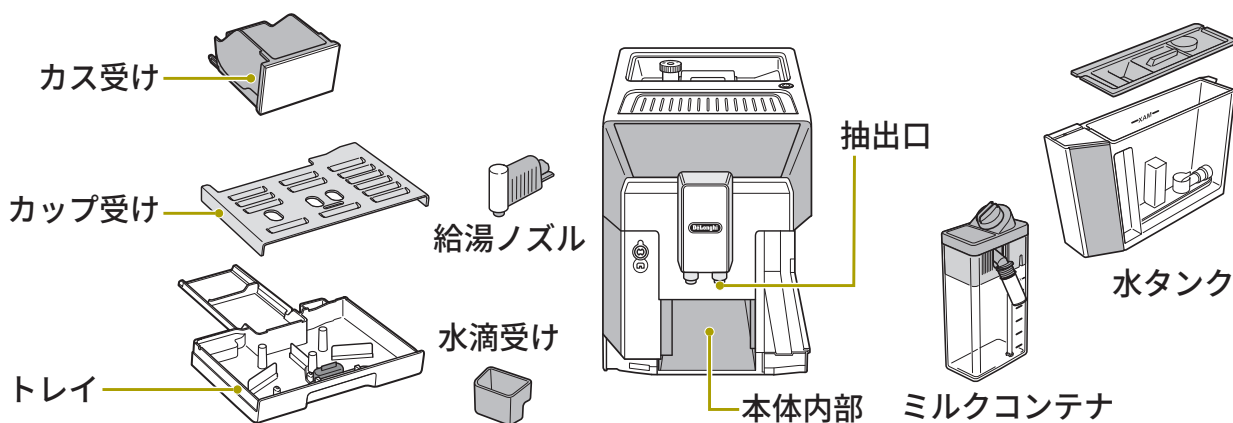
いつも清潔な状態で使用するため、こまめにお手入れすることをおすすめします。

お手入れに関するお願い

- ベンジン・シンナー・アルコール*・研磨剤・漂白剤は、使わないでください。（傷、変色の原因）
- たわし類・メラミンスポンジは、使わないでください。（傷の原因）
- 食器洗い機・食器乾燥機は使わないでください。（変形の原因）

※スチーム管周囲の清掃（30 ページ）のキッチン用アルコール除菌スプレーを除く。

毎日のお手入れ



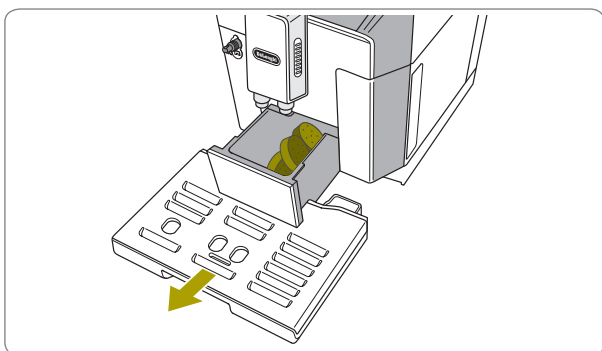
豆ホッパーに残った豆は

豆ホッパーふたには、ある程度の遮光性と密閉性があるため、残った豆はそのまま豆ホッパー内に入れておいてかまいませんが、3日以内にお使いいただくことをおすすめします。

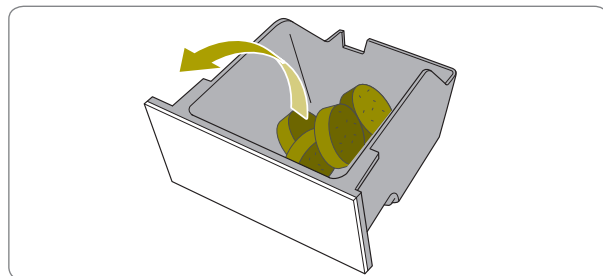
カス受けにたまったカスを捨てる

本製品では、抽出杯数を自動でカウントし、この作業でリセットする仕組みになっています。必ず電源が入っている状態で捨ててください。

1 電源を入れた状態でトレイを取り外す



2 カス受けのカスを捨てる

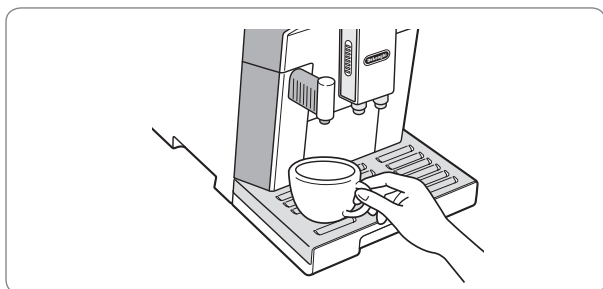


3 カス受けをトレイに取り付け、トレイを本体に戻す

お手入れ (つづき)

給湯ノズル、スチーム管の汚れを取る

1 給湯ノズルの下にカップを置く



2 目印を押し、◀または▶で「キュウトウ」を選択する

液晶ディスプレイに給湯の表示が出ます。

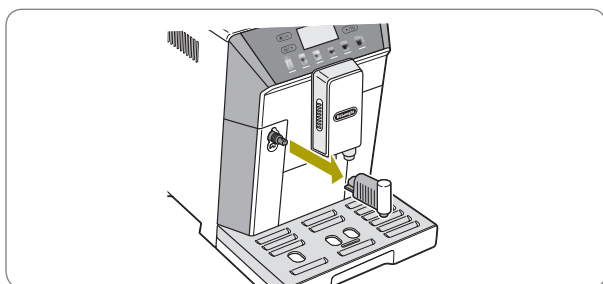
3 OKを押す

給湯ノズルからお湯が出ます。

4 少量のお湯を出し、◀を押してお湯を止める

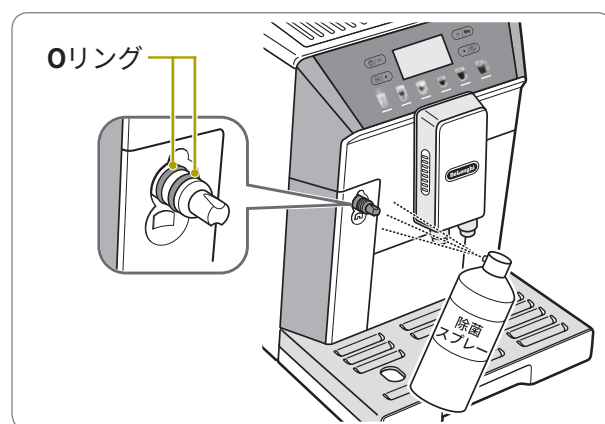
5 フロッサーが冷えるまで、2～3分待つ

6 給湯ノズルを手前に引いて取り外す



給湯ノズル内に少量のお湯が残るので
やけどに注意する

7 スチーム管の周囲を清掃する



キッチン用アルコール除菌スプレーでスチーム管の周囲を除菌し、先の細い柔らかいブラシで清掃し、固く絞った濡れ布巾でスチーム管とOリングを丁寧に拭いてください。

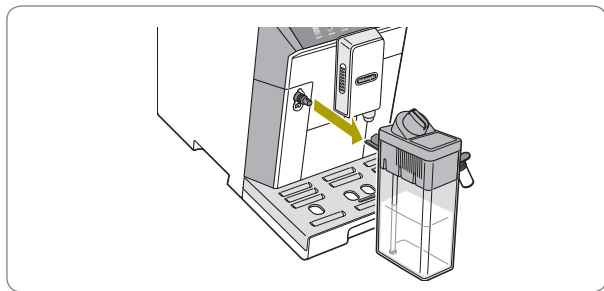
8 給湯ノズルを水洗いする

9 給湯ノズルの穴や溝が汚れている場合は、爪楊枝など先の細いもので取り除く

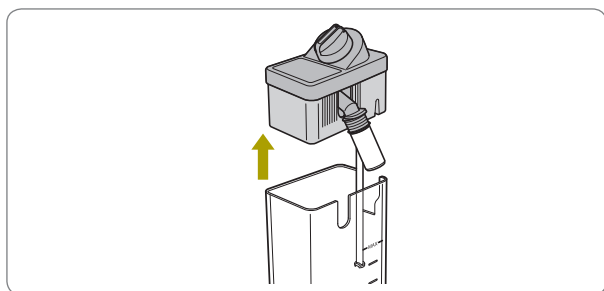
10 乾いたら給湯ノズルをスチーム管に取り付ける

ミルクコンテナの汚れを取る

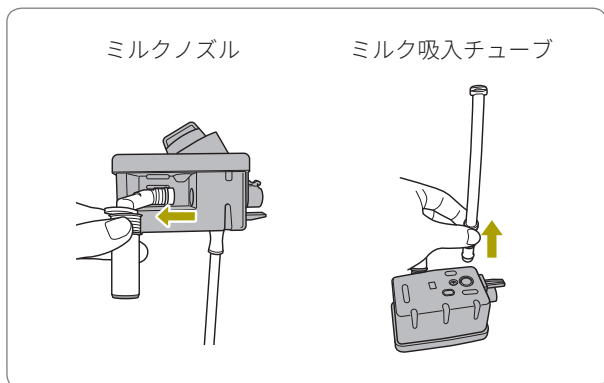
1 ミルクコンテナを取り外す



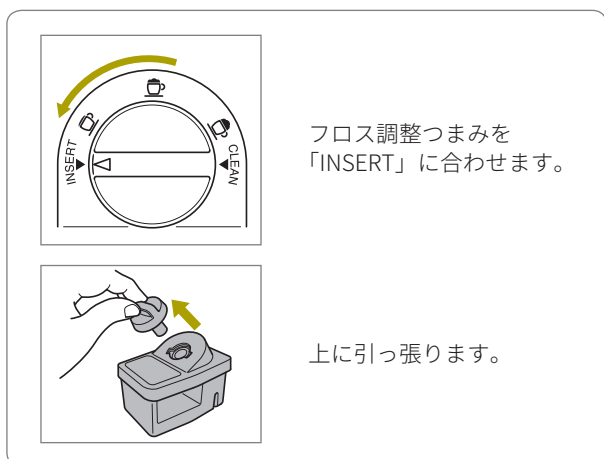
2 ミルクコンテナのふたを取り外す



3 ミルクコンテナのふたからミルクノズルとミルク吸入チューブを取り外す



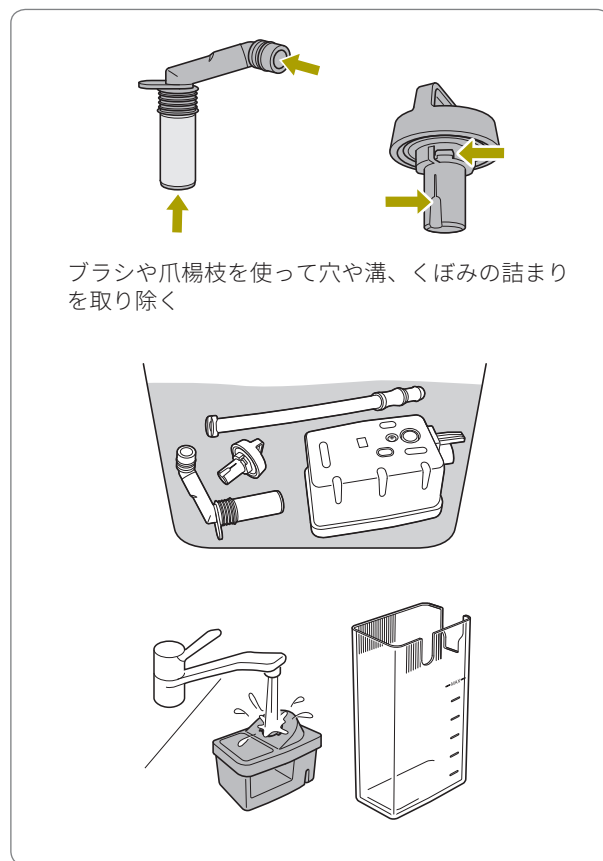
4 ミルクコンテナのふたからフロス調整つまみを取り外す



5 めるま湯と食器用洗剤でよく洗う

食器用洗剤を溶かしたぬるま湯に部品を浸けて洗浄します。ミルクコンテナ本体は、食器用洗剤を使って、水洗いします。

矢印(→)で示されている穴や溝、くぼみが詰まらないように、特によく洗ってください。その後、よくすすぎ、各部品に洗剤が残らないようにしてください。



6 乾いたら、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみをふたに戻す

取り外したときと逆の手順で、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみをふたに取り付けます。

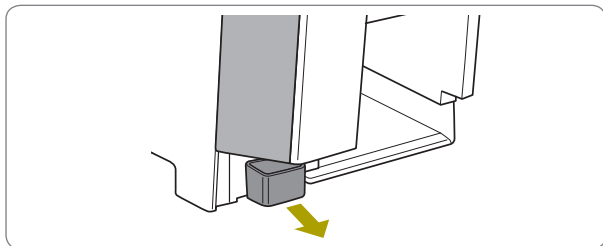
7 ふたをミルクコンテナに戻す

お手入れ (つづき)

トレイ、カップ受け、カス受け、水滴受けを洗う

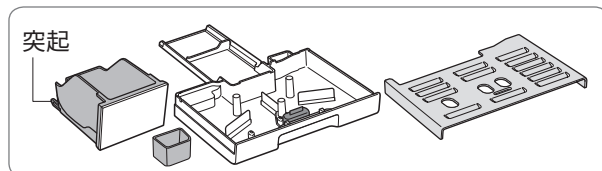
電源を切って行ってください。

- 1 電源を切る
- 2 トレイを取り外す
- 3 水滴受けを取り外す



- 4 それぞれを水洗いする

- 5 乾いたら本体に戻す



カス受けの取り扱いにご注意ください。
背面の突起が破損すると、カス受けが認識されない原因になります。

水タンクを洗う

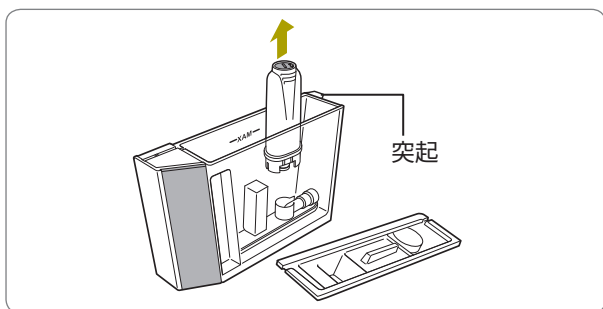
電源を切って行ってください。



水タンクの取り扱いにご注意ください。

- 背面の突起が破損すると、水タンクが認識されない原因になります。
- 背面の給水口が破損すると、水漏れの原因になります。
- 水タンク内の部品が外れないようご注意ください。動作不良の原因になります。

- 1 電源を切る
- 2 水タンクを取り外し、ウォーターフィルターは取り外して流水ですすぐ



- 3 水タンクは食器用洗剤で洗い、よくすすいで乾かす

フィルターは洗剤で洗わないでください。

- 4 ウォーターフィルターを水タンクに戻し、水を入れて本体に戻す

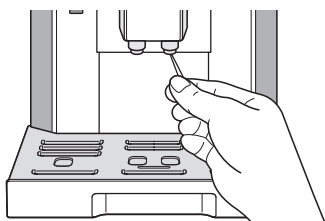
フィルターから水が抜けたときは、水に浸してしっかり空気を抜いてから水タンクに戻してください。

- 5 電源を入れて、100mL 程度給湯する

抽出口を掃除する

電源を切って行ってください。

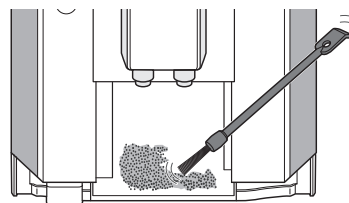
固く絞った濡れ布巾で拭きます。抽出口が詰まっている場合は爪楊枝などを使って取り除きます。



本体内部を掃除する

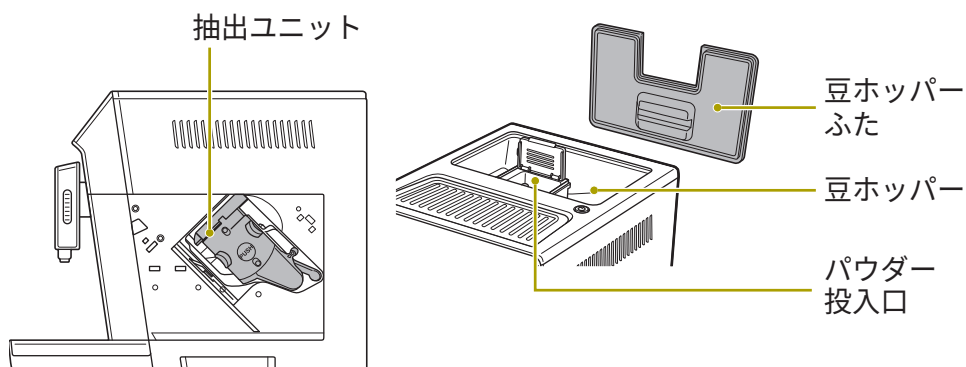
電源を切って行ってください。

本体内部のコーヒー粉は、付属のクリーニングブラシや固く絞った濡れ布巾を使って取り除いてください。



1 カ月に 1 回のお手入れ

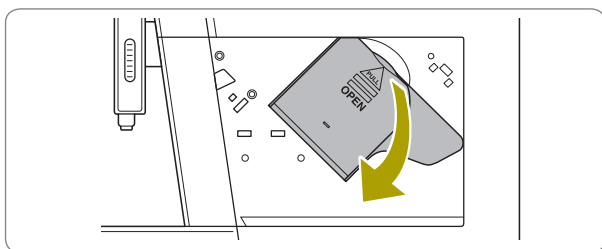
1 週間以上使用しなかった場合も、同じお手入れをしてください。



抽出ユニットを洗う

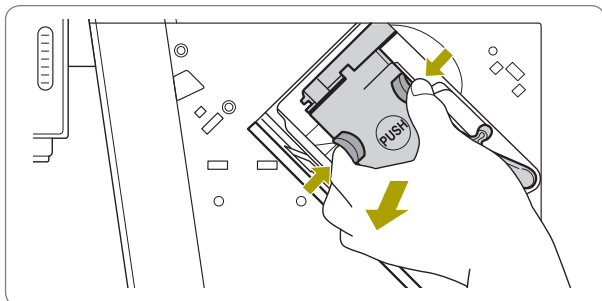
必ず電源を切って行ってください。

- 1 電源を切る
- 2 水タンクを取り外す
- 3 抽出ユニットふたを、「PULL」と書かれた部分を手前に引いて開く



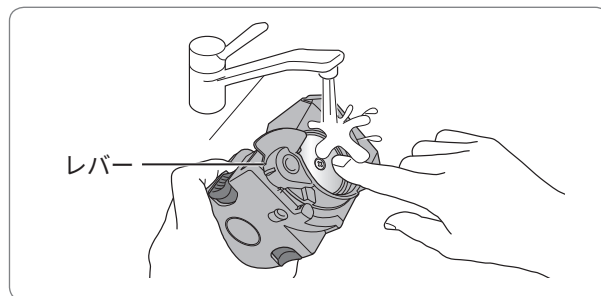
4 抽出ユニットを取り出す

赤いボタン（2箇所）を内側に押し込みながら手前に引いて取り出します。



抽出ユニットが縦向きになっていて取り外せない場合は、電源を一度入れ、再度電源を切ってください。

5 抽出ユニット上部を流水で洗う



銀色のフィルター部分やレバーの周りなどに残ったコーヒー粉を洗い流します。

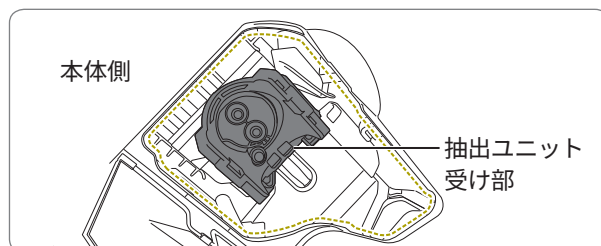
洗った後は、完全に乾かしてください。

フィルターや伸縮部に塗布されたグリースは、食品機械用潤滑剤です。完全には洗い流さないでください。



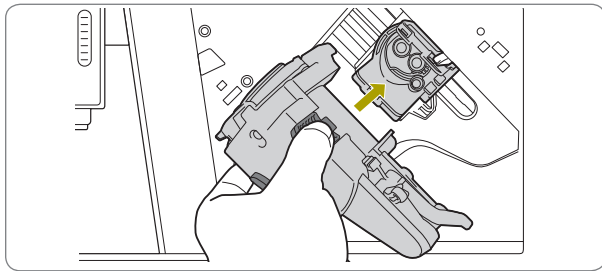
洗剤を使ったり、食器洗い機で洗ったり、水に浸けたりしない（故障の原因）

6 付属のクリーニングブラシで、抽出ユニット受け部周辺のカスを取り除く



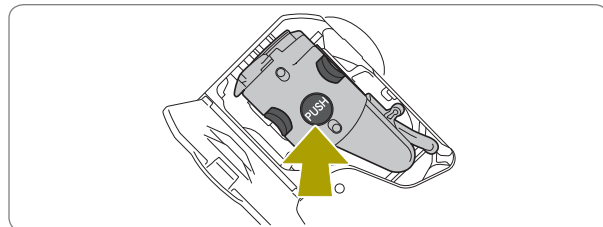
お手入れ (つづき)

7 抽出ユニットの円筒部分を、抽出ユニット受け部にはめる



8 「PUSH」と表示されている部分を押して、カチッと音がするまではめ込む

はめ込みにくい場合は、赤いボタン（2箇所）を軽く押しながら押し込んでください。



はめ込んだ後に、赤いボタンが押し込まれたままになっている場合は、抽出ユニットが正しく取り付けられていません。一旦取り出してから、取り付け直してください。

9 抽出ユニットふたを閉め、水タンクを取り付ける

抽出ユニットの伸縮動作が固くなってきたら

銀色のフィルター部分を指で押し込んだときの伸縮動作が固くなってきたら、抽出ユニット用グリースを塗布してください。そのまま使用を続けると故障の原因となります。

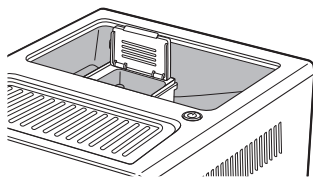
● 抽出ユニット用グリースは、お求めの販売店または当社オンラインショップでお求めください。（41 ページ）

豆ホッパー、パウダー投入口を掃除する

必ず電源を切って行ってください。

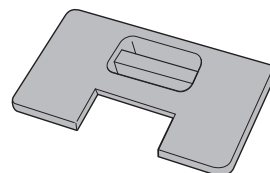
パウダー投入口に残ったコーヒー粉を、付属のクリーニングブラシで取り除いてください。

豆ホッパーは、乾いた布巾で拭いてください。



豆ホッパーふたを掃除する

水洗いした後、よく乾かし
てから本体に戻します。



必要に応じてのお手入れ

内部のコーヒー抽出経路

手動内部洗浄を行って、コーヒー抽出経路を洗浄します。（26 ページ）

抽出用にミネラルウォーターや浄水器の水をご使用の場合、週に1度、水道水を水タンクに入れて内部洗浄を数回行うことをおすすめします。水道水の残留塩素で、洗浄効果が高まります。

2日以上使用しなかったときは、手動内部洗浄を2～3回行うことをおすすめします。

本体表面、電源プラグ・コード

水洗いできません。

汚れたときは、固く絞った濡れ布巾で拭きます。汚れがひどい場合は、少量の食器用洗剤をつけた布で拭いてから、濡れ布巾で洗剤をよく拭き取ってください。

石灰（白い付着物）を除去する

ご使用にともない、水の石灰質が徐々に内部管などに付着します。石灰が付着した状態で使用を続けると、故障の原因になります。

石灰の除去が必要な時期になると、「ジョセッカイ ESC：キャンセル OK：カイシ（ヤク 45 フン）」の表示が出てお知らせします。以下の手順で、石灰の除去を行ってください。

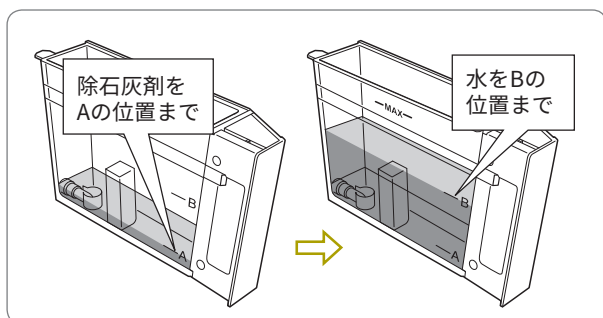
石灰の除去作業（所要時間 45 分程度）は中断できません。時間の余裕をもって行ってください。

1. 準備する

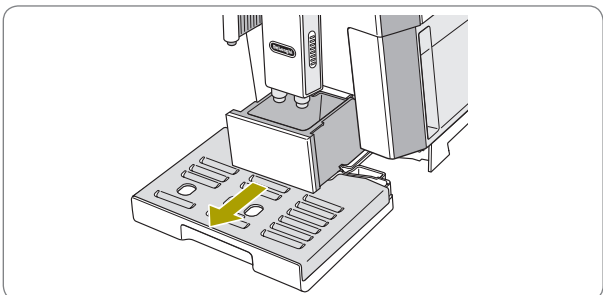
1 給湯ノズルを取り付け、OKを押して、石灰の除去に入る

ウォーターフィルターを取り付けているときは「フィルターヲハズス」と表示されたらウォーターフィルターを取り外して水タンクを空にし、OKを押してください。

2 水タンクを空にして除石灰剤を水タンク「A」の位置まで入れた後、水を「B」の位置まで入れ、水タンクを本体に取り付けたらOKを押す



3 トレイを取り出し、水を捨てて元に戻しOKを押す



2. 洗浄する

1 給湯ノズルと抽出口の下に2L以上の空の容器を置き、OKを押して洗浄を開始する



「ジョセッカイジツコウチュウ」と表示され、石灰の除去が始まります。

洗浄中は、自動で抽出口と給湯ノズルからお湯が出たり止まったりします。

約 25 分経つと水タンクが空になり、石灰の除去は停止します。容器を空にしてください。

3. すすぐ

1 水タンクを外して水でよくすすぎ「MAX」の位置まで新しい水を入れて本体に取り付け、OKを押す

除石灰剤は入れないでください。

2 給湯ノズルと抽出口の下に空の容器を置き、OKを押す

3 再度 OK を押し、1 回目のすすぎを開始する

最初に抽出口から、次に給湯ノズルから水が排出されます。

お手入れ（つづき）

石灰（白い付着物）を除去する

石灰（白い付着物）を除去する（つづき）

4 水タンクが空になったら 1～3 をくり返して、2 回目のすすぎを開始する

水が排出され、水タンクの水がなくなると、「トレイヲカラニスル」と表示されすすぎが完了します。

ウォーターフィルターを使用していたときは、水タンクにフィルターを取り付けてすすぎを行います。「フィルターヲセット」と表示されたら、OKを押してください。

除石灰剤は入れないでください。

5 トレーを取り出し、水を捨てて元に戻し OKを押す

6 再度 OKを押し、石灰の除去を完了する

容器の水は捨ててください。

石灰の除去を行った後は、カス受けに水が溜まる場合がありますが異常ではありません。

水を MAX の位置まで入れていない場合、3 回目のすすぎが必要になる場合があります。

7 水タンクに水を入れ、本体に取り付ける

■ が消えない場合、何らかの原因で石灰の除去が完了していません。その場合は、水だけで石灰の除去を繰り返し行ってください。

- 石灰の除去の表示が出て、すぐに開始できないときは、ESC を押すと ■ が表示されます。故障の原因になりますのでなるべく早く石灰の除去を行ってください。

1  を押し、設定画面を表示する

2 液晶ディスプレイに「メンテナンス」が表示されるまで ◀ または ▶ を押して OK で確定する


3 ◀ または ▶ を押して「ジョセツカイ」を選択し、OK で確定する

- 除石灰剤が必要な場合は、お求めの販売店または当社オンラインショップでお求めください。（41 ページ）



ヒント 石灰の除去の頻度について

液晶ディスプレイの表示で石灰の除去の時期をお知らせする頻度は、設定した水硬度レベル（25 ページ）によって変わります。レベルを低く設定すると少なくなり、高く設定すると多くなります。

水硬度レベル	1	2	3	4	
石灰の除去の頻度	少ない (軟水)				多い (硬水)

表示一覧





液晶ディスプレイの表示の意味と対処方法を説明します。

表 示	説 明	対処のしかた
ミズタンクニ ミズヲイレル	水タンクの水が不足しています。	水タンクに水を入れ、しっかり本体に取り付けてください。
ミズタンクヲ セットスル	水タンクが正しく取り付けられていません。	水タンクをしっかりと本体に押し込んでください。 水タンク背面上部の突起が破損していないか確認してください。
カスウケヲ カラニスル	カス受けがいっぱいになっています。	コーヒーカスを捨ててください。 ※ カス受けが満杯になっていなくても、メッセージが表示されたら必ずカスを捨ててください。
カスウケヲ セットスル	カス受けが正しく取り付けられていません。	カス受けを正しい位置に取り付けてください。 カス受け背面下部の突起が破損していないか確認してください。
コーヒーパウダーヲ イレル ESC: キャンセル	コーヒー粉が入っていない状態で、コーヒー粉からの抽出が選択されています。	コーヒー粉をパウダー投入口に入れる、またはESCでコーヒー粉からの抽出選択を取り消してください。(16 ページ)
コーヒーパウダーヲ イレル	カフェ・ジャポネの抽出中に2回目のコーヒー粉を入れる状態です。	コーヒー粉をパウダー投入口に入れ、OKを押してください。(16 ページ)
マメホッパーニ コーヒーマメヲイレル ESC: キャンセル	豆ホッパーのコーヒー豆がなくなりました。	豆ホッパーにコーヒー豆を入れてください。
	パウダー投入口（内部）が詰まっています。	付属のクリーニングブラシでパウダー投入口の清掃を行ってください。(34 ページ)
	グラインダーにコーヒー豆が引き込まれていません。	油分によって豆が豆ホッパーに付着してしまい、グラインダーに引き込まれないときは、豆ホッパーを乾いた布巾で拭いてください。
マメリユウド エラー グラインダーヲ チョウセイ ESC: キャンセル	豆の挽き具合（粒度）が細かすぎて、抽出が遅い（またはされない）状態です。	グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に1目盛回してください。(28 ページ)
	本体の水経路に空気が入り、抽出されない状態です。（ウォーターフィルター取り付け時）	給湯ノズルを取り付け、給湯してください。(21 ページ)
パウダー／マメリヨウチュウイ ESC: キャンセル	コーヒー豆の量が多すぎます。	OKを押してコーヒー豆の量を少なく調整してください。(16 ページ)
	コーヒー粉の量が多すぎます。	OKを押してコーヒー粉の量を減らしてください。(16 ページ)
キュウトウノズルヲ セットスル	給湯ノズルが本体に正しく取り付けられていません。	給湯ノズルをしっかりと本体に取り付けてください。
ミルクコンテナヲ セットスル	ミルクコンテナが本体に正しく取り付けられていません。	ミルクコンテナをしっかりと本体に取り付けてください。
チュウシュツユニットヲ セットシテクダサイ	抽出ユニットが取り付けられていません。	抽出ユニットを取り付けてください。(33 ページ)
クウキヌキガヒツヨウデス キュウトウヲ シテクダサイ OK デスカ？	本体の水経路に空気が入っている状態です。	OKを押して給湯してください。それでも表示される場合は、水タンクがしっかりと本体に取り付けられているか確認してください。
ツマミガ CLEAN ノママ フロスチョウセイ ツマミヲマワス	フロス調整つまみを「CLEAN」の位置に合せている状態です。	ミルクノズルを洗浄するときは、OKを押してください。ミルクメニューを抽出するときは、フロス調整つまみを「CLEAN」の位置から、  ～  の間に戻してください。
ツマミヲ CLEAN ニアワセル ESC: キャンセル	ミルクノズルを洗浄してください。	フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせる、またはESCで取り消してください。(20 ページ)

石灰（白い付着物）を除去する（つづき）

表示一覧

表示一覧 (つづき)

表 示	説 明	対処のしかた
 ジョセツカイ ESC: キャンセル OK: カイシ (ヤク 45 フン)	石灰の除去が必要です。	すぐに石灰を除去する場合は、OKを押して石灰の除去を行ってください。 (35 ページ) あとで石灰を除去する場合は、ESCを押してください。 石灰を除去するまで、  が表示されます。
 フィルターコウカン ESC: キャンセル コウカン OK		
エラー! トリアツカイセツメイシヨヲカクニン	抽出ユニットの動作不良などが考えられます。	①電源を切り、約 5 秒後に再度入れる ②抽出ユニットを取り付け直す。 上記手順を行っても解決しない場合は、当社までご相談ください。(42 ページ)
	ミルクコンテナのミルク吸入チューブのお手入れが必要です。	フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせてください。(20 ページ)
ECO	節電モードが「入」に設定されています。	節電モードは入／切を設定できます。(24 ページ)

故障かな？

症 状	考えられる原因		対処のしかた
コーヒーがぬるい	エスプレッソの温度は 67 ～ 70℃前後が理想とされています。一般的なドリップコーヒー（85℃前後）と比べてぬるく感じるがありますが、異常ではありません。		
	カップが温まっていない		給湯を行いカップを湯煎してください。（21 ページ）
	本体内部が温まっていない		手動内部洗浄を行い、本体内部を温めてください。（26 ページ）
	抽出温度の設定が低い		抽出温度を「レベル3」に設定してください。（24 ページ）
コーヒーがクリーミーでない （クレマがない／少ない） 抽出が早すぎる	からの抽出豆	コーヒー豆の挽き具合が粗すぎる	グラインダーノブを細かいほう（反時計回り）に 1 目盛回してください。（28 ページ）
		適切な豆を使用していない	新鮮なエスプレッソ用の豆を使用してください。（7 ページ）
	からの抽出粉	コーヒー粉の量が少なすぎる	コーヒー粉の量を増やしてください。（最大：計量スプーン山盛り 1 杯）
		適切なコーヒー粉を使用していない	新鮮なエスプレッソ用の粉（極細挽き～細挽き）を使用してください。（7 ページ）
抽出が遅い （ポタポタとしか抽出されない） 抽出されない	抽出口や抽出ユニットが目詰まりを起こしている		抽出口や抽出ユニットのお手入れをしてください。（32、33 ページ）
	からの抽出豆	挽かれたコーヒー豆の量が多すぎる	コーヒー豆の量を減らしてください。
		コーヒー豆の挽き具合が細かすぎる	グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に 1 目盛回してください。（28 ページ）
	からの抽出粉	コーヒー粉の量が多すぎる	投入するコーヒー粉の量を減らしてください。
		電源が「切」のときにコーヒー粉を投入した	内部に粉が飛び散るため、本体内部および抽出ユニットのお手入れを行ってから再度抽出してください。（32、33 ページ）
コーヒーが抽出されず、「シバラクオマチクダサイ」と表示される	本体の水経路にコーヒーの微粉や石灰分などが入っている		抽出できるようになるまでお待ちください。しばらく経っても変わらない場合は、当社へご連絡ください。（42 ページ）
左右の抽出口から出るコーヒーの量が違う	片方の抽出口が詰まっている		抽出口をお手入れしてください。（32 ページ）
	本体が水平に設置されていない		水平に設置してください。
⏻ ボタンを押しても電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない		電源プラグをコンセントに差し込んでください。
お手入れの際、抽出ユニットが取り外せない	本体の電源が入った状態で取り外そうとした		抽出ユニットは、電源が切れているときのみ取り外すことができます。本体の電源を切ってから取り外してください。（33 ページ）

故障かな？(つづき)

症 状	考えられる原因	対処のしかた
石灰の除去をしても ☼が表示される	洗浄やすすぎが完了していなかった	水だけで石灰の除去を繰り返し行ってください。(35 ページ) ※ 石灰の除去の際は、お湯の排出・停止を自動的に繰り返します。
	途中で電源を切った	
	2回目のすすぎで、水タンクに MAX の位置まで水を入れなかった	トレイの水を捨ててから、ディスプレイの指示に従い3回目のすすぎを行ってください。
フロスマルクが適量出てこない	牛乳の通り道が詰まっている	ミルクコンテナやスチーム管、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみを洗浄してください。(31 ページ)
スチームが出てくる	ミルクコンテナに必要な分量の牛乳が入っていない	ミルクコンテナに必要な分量の牛乳を入れてください。(19、41 ページ)
牛乳の泡立ちが悪い Ⅱ フォームミルクがうまくできない	鮮度、温度、種類ともに不適当な牛乳を使用している	新鮮で冷えた成分無調整／乳脂肪分 3.0%以上の牛乳を使ってください。(7 ページ)
	ミルクコンテナやスチーム管、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみの穴が目詰まりしている	各部位をお手入れしてください。(31 ページ)
	スチーム管の O リングが破損または欠損している	新しい O リングに取り替えが必要です。当社へご連絡ください。(42 ページ)
	フロス調整つまみが ☕ になっている	☕ ~ ☕ の間に設定してください。
大きな音がして抽出口から コーヒーなどが出ない	本体の水経路に空気が入っている	給湯してください。 (21 ページ)
グラインダーにコーヒー豆が 引き込まれない	油分の多いコーヒー豆を使用している	油分によって豆が豆ホッパーに付着してしまい、グラインダーに引き込まれないときは、豆ホッパーを乾いた布巾で拭いてください。
電源を入れた後に「カスウケ ヲ カラニスル」と表示される	カス受けのお手入れ後、最初のコーヒー抽出から 72 時間以上経過した	カス受けをお手入れしてください。 ※ 衛生のため、お手入れ後、最初のコーヒー抽出から約 72 時間後に「カスウケヲ カラニスル」が表示されます。
カス受けをお手入れしても 「カスウケヲ カラニスル」の 表示が消えない	カスを捨ててからすぐにカス受けを取り付けた	10 秒程度待ってからカス受けを取り付けてください。

製品名称		デロンギ エレッタ カプチーノ イーヴォ 全自動コーヒーマシン	
型式番号		ECAM46860	
定格	電圧／周波数	100V ／ 50-60Hz	
	消費電力	1450W	
外形寸法（約）		幅 260 ×奥行き 460 ×高さ 360 (mm)	
質量（約）		12kg	
水タンク容量		2.0L（MAX の目盛り）	
ミルクコンテナ容量		600mL	
豆ホッパー容量		370g	
豆量設定（約）		エスプレッソ 1 杯抽出：6~11g、2 杯抽出：10~14g、スペシャルティ：8~14g、 カフェ・ジャポーネ：10~18g、ドッピオ+：15g	
コーヒー粉使用		使用可（最大：計量スプーン山盛り 1 杯）	
コーヒー抽出量	メニュー	1 杯抽出時	2 杯抽出時
	エスプレッソ	初期設定 約 30mL （設定範囲 約 30 ～ 180mL）	倍量
	スペシャルティ	約 180mL （設定範囲 約 100 ～ 240mL）	—
	カフェ・ジャポーネ	約 180mL （設定範囲 約 115 ～ 250mL）	—
	エスプレッソラージ	約 40mL （設定範囲 約 40 ～ 180mL）	倍量
	ロングコーヒー	約 120mL （設定範囲 約 100 ～ 180mL）	倍量
	ドッピオ+	約 120mL （設定範囲 約 80 ～ 180mL）	—
ミルクメニュー 抽出量	メニュー	コーヒー抽出量 （設定範囲 約 30 ～ 180mL）	牛乳抽出量 （設定範囲 約 20 ～ 250mL）
	カプチーノ	初期設定 約 30mL	初期設定 約 120mL
	ラテマキアート	初期設定 約 30mL	初期設定 約 150mL
	カフェラテ	初期設定 約 30mL	初期設定 約 150mL
	フラットホワイト	初期設定 約 60mL	初期設定 約 120mL
	カプチーノ MIX	初期設定 約 80mL	初期設定 約 70mL
	ミルク	—	初期設定 約 100mL
給湯量		初期設定 約 100mL（設定範囲 約 30 ～ 400mL）	
カス受け容量		最大 20 杯分	
ポンプ圧		15 気圧	
グラインダー		コーン式コーヒーグラインダー	
付属品		計量スプーン、コーヒーマシン用除石灰剤、水硬度チェッカー、クリーニングブラシ、 ウォーターフィルター	

※ 待機電力は約 0.5W 以下です。

別 売 品

- 抽出ユニット
- 抽出ユニット用グリース
- 水硬度チェッカー
- ミルクコンテナ
- エコマルチクリーン
[型番：DLSC550]
- ミルクジャグ (350mL)
[型番：DLSC060]
- コーヒーマシン用ウォーターフィルター
[型番：DLSC002]
- コーヒーマシン用除石灰剤 (2 個入り)
[型番：DLSC200]
- コーヒーマシン用除石灰剤 (500mL ボトル)
[型番：DLSC500]

お求め方法 ▶ お買い上げの販売店または当社オンラインショップでお求めください。
オンラインショップ URL ▶ <http://shop-casa-delonghi.com>

アフターサービス

1) 使用中に異常（★）が生じた場合

ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「表示一覧」「故障かな？」（37～40 ページ）で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社（下記）にご相談ください。

- ――― ★以下のような場合には、点検および修理が必要です ―――
- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ・使用中、電源プラグ・コード、コンセントが異常に熱くなる | ・電源プラグ・コードが変形／破損している |
| ・本体に水などの液体をこぼした | ・本体に強い衝撃を与えた |
| | ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない |

2) 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に

1. お買い上げ日 2. 製品名と型式番号 3. 故障の状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

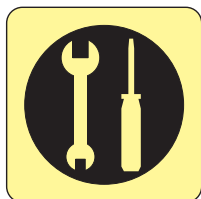
※本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります（補修用性能部品保有期間内）。

3) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4) まごころ点検について



保証期間（1年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、下記までお問い合わせください。

5) 再資源化システムについて

ご不要になった製品は、当社が費用を負担し、素材ごとに分別、再資源化いたします。



送料について：送料はお客様のご負担（元払い）となります。あらかじめご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

デロンギ お客様サポートセンター

（受付時間 ▶ 土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 18:00）

Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページでのお問い合わせ（URL） <https://www.delonghi.co.jp/inquiry/>

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。

持込修理

製品名：デロンギ エレッタ カプチーノ イーヴォ 全自動コーヒーマシン			
型式番号：ECAM46860			
お客様	ご氏名： _____ 様	TEL： _____	印
	ご住所：〒 _____		
販売店	※店名・住所・TEL： _____		
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日		保証期間：お買い上げ日より1年間	保証対象：本体

見本

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障・損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
 - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失

- 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
- 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
 - 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービス」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

デロンギ・ジャパン株式会社

TEL.0120-804-280 〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更することがありますのでご了承ください。

切り取り線

アフターサービス

保証書

